

# 東洋医療専門学校学則

令和7年4月1日施行

# 東洋医療専門学校学則

## 第一章 総 則

(設置目的)

第1条 本校は、歯科技工士及び救急救命士並びに鍼灸師、柔道整復師を養成(育成)する事を目的とする。

(名 称)

第2条 本校は、東洋医療専門学校(以下、本校)と称す。

(位 置)

第3条 本校の位置を大阪府大阪市淀川区西宮原1丁目5番35号に設置する。

(自己点検・評価)

第4条 1. 本校は、その教育の一環の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。  
2. 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

## 第二章 課程、学科及び修業年限、定員並びに休業日

(課程・学科・修業年限・定員)

第5条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	備考
医療 専門課程	歯科技工士学科	昼間部 3年	30名	90名	
		夜間部 3年	30名	90名	
	救急救命士学科	昼間部 3年	80名	240名	(I 部)
		夜間部 3年	40名	120名	(II 部)
	鍼灸師学科	昼間部 3年	30名	90名	(I 部)
		夜間部 3年	30名	90名	(II 部)
	柔道整復師学科	昼間部 3年	60名	180名	(I 部)
		夜間部 3年	30名	90名	(II 部)
合 計			300名	900名	

(学年・学期)

第6条

1. 本校の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
2. 専門課程の学期は、次のとおりとする。  
歯科技工士学科 救急救命士学科 柔道整復師学科  
前期 4月1日から9月30日まで 後期 10月1日から3月31日まで  
鍼灸師学科  
1学期 4月1日から8月31日まで 2学期 9月1日から12月31日  
3学期 1月1日から3月31日

(休業日)

第7条

本校の休業日は、次のとおりとする。

1. 日曜日
2. 国民の祝日に関する法律に規定する日
3. 夏期休業 7月21日から8月31日まで
4. 冬期休業 12月21日から1月10日まで
5. 春期休業 3月11日から4月9日まで
6. 開校記念日 6月25日

但し、学校長が必要と認めたときは、休業日を変更できる。前項の規定にかかわらず学校長が必要と認めたときは臨時に休業を行い、又は休業日に授業を行うことができる。

### 第三章 教育課程、授業時間数及び教員組織

(教育課程・授業時間)

第8条

1. 本校の教科課程及び授業時間数等は別紙第1のとおりとする。
2. 別紙第1に定める授業時間数の1単位時間は50分とし、90分授業は2単位時間とする。卒業までに履修させる授業時数は、歯科技工士学科にあつては3年制で2400時間以上、救急救命士学科昼間部にあつては3年制で2400時間以上とし、夜間部にあつては3年制で2000時間以上とする。又、鍼灸師学科にあつては昼間部・夜間部3年制で2655時間以上の授業時間数とする。柔道整復師学科にあつては昼間部・夜間部で2750時間以上の授業時間数とする。

(授業時数の単位数への換算)

第9条

本校の専門課程の授業科目の授業時数を単位数に換算する場合においては、講義又は演習については15時間から30時間をもって1単位、実習及び実技については30時間から45時間をもって1単位とし、臨床実習及び臨地実習にあつては45時間を持って1単位とする。

第10条 本校の始業及び終業の時刻は、次のとおりとする。

課程名	学科名	昼夜別	始業時間	終業時間	曜日
医療 専門課程	歯科技工士学科	昼間部	9時10分	16時30分	月～金
	救急救命士学科	昼間部	9時10分	16時30分	月～金
		夜間部	18時00分	21時10分	月～土
	鍼灸師学科	昼間部	9時10分	16時30分	月～金
		夜間部	18時00分	21時10分	月～土
	柔道整復師学科	昼間部	9時10分	16時30分	月～土
夜間部		18時00分	22時00分	月～土	

(教職員組織)

第11条 本校に次の教職員を置く。

1. 学校長 1名、学校長は、校務をつかさどり、所属職員を監視する。
2. 専任教員 26名以上
3. 兼任教員 70名以上
4. 事務職員 6名以上
5. 学校医 1名

#### 第四章 成績評価及び学科課程の修了、卒業

(成績の評価)

- 第12条
1. 学生の成績は、学科試験、各学科模擬試験及び出席状況により評定する。
  2. 試験の成績は、科目ごとに100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。
  3. 授業を履修し、その試験に合格した者には所定の単位を与える。

(学科試験)

- 第13条
- 試験は授業を行った全科目について、前学期の終わり及び後学期の終わりに行う。尚、3年生においては昼間部及び夜間部とも所定の科目について卒業試験を行うことができる。

(受験資格)

- 第14条
- 学年を通じて所定の授業時間数の4分の3以上出席し、かつ学則に定める各学科試験・模擬試験及び実習に係る出席時間数を満たすものは、前期試験、後期試験及び卒業試験を受験することができる。

(補習)

- 第15条
- 上記の時間数に満たない者で3分の2以上出席した者は、必要な補習を受けて再試験を受験することができる。

(再試験)

第16条 試験の成績が、合格点に満たない学科科目又は、上記の時間数に満たないもので必要な補習を受けた者については、1科目2,000円の受験料を添えて所定の届けを出し、学校長の許可を得なければならない。

(追試験)

第17条 病気その他やむを得ない理由により受験出来なかった学生については、1科目2,000円の受験料を添えて所定の届けを出し、学校長の許可を得なければならない。但し、公休の場合は、この限りではない。

(他の大学、短期大学、専修学校における科目の履修)

第18条 他の大学、短期大学、専修学校専門課程において該当科目を履修した場合においては申請に基づき学校長の判断により課程に必要な総授業時間数の4分の1を超えない範囲で本校の科目の履修とみなすことが出来る。

(進級・卒業)

第19条 進級及び卒業認定については、学業成績及び出席状況を評定の上、各学科の進級・卒業委員会の議を得て学校長が行う。

(在学期間の制限)

第20条

1. 上記の評定で進級・卒業が認められなかった学生は、留年とする。
2. 学生は、各学科・各学年とも同学年を2年を超えて就学できない。
3. 各学科・各学年とも2年間就学し、尚、判定基準に達しない者は、退学又は除籍処分とする。

## 第五章 入学、進級、休学、退学及び卒業

(入学資格)

第21条 本校に入学できる者は、学校教育法第90条第1項に掲げる者(この号の規定により文部科学大臣の規定した学校が大学である場合において、当該大学が同条第2項の規定により当該大学に入学させた者を含む)とする。

(入学・進級の時期)

第22条 入学及び進級の時期は、学年の初めとする。

(入学手続)

第23条 本校の入学手続きは、次のとおりとする。

1. 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書に必要事項を記載して、第33条に定める入学検定料及び必要書類を添えて指定期日までに出席しなければならない。
2. 前号の手続きを終了した者に対して入学試験を行い、入学者を決定する。
3. 前号の結果、本校より合格通知書が発行された者は、発行日から15日以内に第33条に定める入学金を添え手続きをとらなければならない。

#### (転入学)

第24条 本校への転入学を希望する者がある場合は、学習の進展が同程度であり、定員に余裕があり、かつやむを得ない事情があると認めた場合には、選考の上、許可することが出来る。

#### (休学・復学)

- 第25条
1. 学生が、疾病その他やむを得ない事由によって、7日以上休学する場合は、診断書及びその事由を記し、学校長の許可を受けなければならない。
  2. 前項のものが復学しようとする場合は、学校長の許可を受けなければならない。

#### (公 休)

第26条 次の事由による欠席は、所定の申請書（公休届）を提出することによりを公休とする。

1. 学校保健安全法第19条による欠席。（但し、医師の診断書が必要）
2. 忌引き、慶事、結婚式、法事、その他学校長が正当な事由と認めた場合。

#### (退 学)

第27条 退学しようとする者は、その事由を記し、学校長の許可を受けなければならない。

#### (課程修了の認定)

- 第28条
1. 第12条に定める授業科目の成績評価に基づいて、学校長は課程修了の認定を行う。
  2. 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

#### (称号の授与)

第29条 前条により医療専門課程歯科技工士学科、救急救命士学科、鍼灸師学科、並びに柔道整復師学科を修了した者には、専門士（医療専門課程）の称号を授与する。

## 第六章 科目等履修

#### (科目等履修生)

- 第30条
1. 本校において開設する授業科目に対し、本校学生以外の者から特定の科目について履修申請があった場合には、本校の教育に支障がない限り、選考の上科目等履修生として当該科目の履修を許可することができる。
  2. その他科目等履修生に関する事項は、必要に応じてこれを別に定める。

## 第七章 賞 罰

(褒 章)

第31条 成績優秀にして他の模範となる者について褒章することができる。

(懲 戒)

- 第32条
1. 学校長は、本校の規範に違反したり、本校の学生の本分に反する行為があった場合等において、教育上必要と認められる場合には、学生に対し懲戒を加えることができる。
  2. 懲戒の種類は、訓告、停学、退学、及び除籍とする。
  3. 学校長は、次の各号に該当する場合にこれを命ずる。
    - 1) 素行不良で改善の見込みがないと認められる者
    - 2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
    - 3) 正当な理由がなくて出席が常でない者
    - 4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

## 第八章 入学金及び授業料等

(納付金)

第33条 本校の入学検定料、入学金、授業料等納付金は別紙第2のとおりとする。

第34条 休学する者は、休学期間中の学籍保管料を納入しなければならない。

第35条 授業料その他の納付金を6ヶ月以上滞納した者は、除籍することができる。

(還 付)

第36条 すでに納入した入学検定料、入学金及び学費は、原則としてこれを返還しない。

ただし、入学を許可した者が当年3月31日までに入学を辞退した場合には、納付金入学検定料、入学金を除き全て返還する。

## 第九章 附帯教育事業

(附帯教育事業)

- 第37条
1. 附帯教育事業として別科を設置することがある。
  2. 別科の入学金、授業料、教育課程その他必要な事項は、別に定める。

## 第十章 雑 則

(寄宿舎)

第 38 条 本校は、寄宿舎として寮を準備する。尚、寄宿舎に関する事項は別に定める。

(健康診断)

第 39 条 本校は、学校保健安全法第 13 条に基づき、健康診断を毎年 1 回、別に定めるところにより実施する。

(施行細則)

第 40 条 この学則の執行についての細則は、別に定める。

1. この学則は、平成 12 年 4 月 1 日より執行する。
2. 改訂学則は、平成 14 年 4 月 1 日より執行する。
3. 改訂学則は、平成 15 年 4 月 1 日より執行する。
4. 改訂学則は、平成 17 年 4 月 1 日より執行する。
5. 改訂学則は、平成 20 年 4 月 1 日より執行する。
6. 改訂学則は、平成 21 年 4 月 1 日より執行する。
7. 改定学則は、平成 23 年 4 月 1 日より施行する。
8. 改定学則は、平成 27 年 4 月 1 日より施行する。
9. 改定学則は、平成 30 年 4 月 1 日より施行する。
10. 改定学則は、平成 31 年 4 月 1 日より施行する。
11. 改定学則は、令和 3 年 4 月 1 日より施行する。
12. 改定学則は、令和 5 年 4 月 1 日より施行する。
13. 改定学則は、令和 7 年 4 月 1 日より施行する。

ただし、令和 6 年度以前に入学した者については、従前の学則を適用する

教科課程表

歯科技工士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学 と 技術 の 基 盤  人間 と 社会	外国語① Foreign Language	必修	講義	30	2		30				歯科英語の習得と日常の歯科臨床におけるコミュニケーション方法を学ぶ。	
		外国語② Foreign Language	〃	〃	30	2			30			英語によるコミュニケーション方法を学ぶ。	
		美術概論 Introduction of Art	〃	〃	15	1	15					歯と顔から立体的なものの見方をデッサンにより学ぶ。	
		情報科学 1 Information Processing 1	〃	演習	30	1		30				パソコンを用い情報処理技術の基礎的な操作方法を理解する。	
		情報科学 2 Information Processing 2	〃	〃	30	1			30			パソコンを用い情報処理技術の基礎的な操作方法を理解する。	
		統計学 Statistics	〃	講義	15	1				15		記述統計について理論を学び相関分析、検定の理論背景を学び、エクセルを用いた処理を学ぶ。	
		コミュニケーション学 Communication Studies	〃	〃	15	1			15			コミュニケーションとマナーを理解し、「チームで働く力」を学ぶ。	
専門基礎分野	医療	歯科技工管理学 1 Dental Laboratory Practice Administration 1	〃	〃	60	4	60					歯科技工に關係する歯科疾患と障害の習得を目的とする教育。	
		歯科技工管理学 2 Dental Laboratory Practice Administration 2	〃	〃	15	1		15				歯科技工士法を中心に關係法規について学ぶ。	
		公衆衛生 Public Health	〃	〃	15	1				15		健康の保持、予防医学の重要性を認識し環境問題のについて学ぶ。	
	歯・口腔の構造と機能	口腔・顎顔面解剖学 Oral and Maxillofacial Anatomy	〃	〃	40	2	40					口腔および顎顔面の組織について学ぶ。	
		歯の解剖学実習 1 Practice of Dental anatomy 1	〃	実習	80	2	40	40				歯の形態や機能、その周囲の組織を解剖的事項から、歯形彫刻・デッサンにより理解をする。	
		歯の解剖学実習 2 Practice of Dental anatomy 2	〃	〃	45	1			30	15		歯の形態や機能、その周囲の組織を解剖的事項から、歯形彫刻・デッサンにより理解をする。	
		歯の解剖学実習 3 Practice of Dental anatomy 3	〃	〃	60	2					40	20	歯の形態や機能、その周囲の組織を解剖的事項から、歯形彫刻・デッサンにより理解をする。
		顎口腔機能学 Stomatognathic Function science	〃	講義	15	1			15				あらゆる動きの顎運動や咬み合わせの状態、口腔内の機能について学ぶ。
		顎口腔機能学実習 Practice of Stomatognathic Function science	〃	実習	45	1			30	15			あらゆる動きの顎運動や咬み合わせの状態、口腔内の機能を理解し、調和のとれた補綴物作製に 응용する。
		歯科理工学 Dental Materials Science	〃	講義	150	10	75	75					歯科技工に必要な材料、機械器具の取り扱いについて学ぶ。
歯科理工学実習 Practice of Dental Materials Science	〃	実習	60	2				60			歯科技工に必要な材料、機械器具の取り扱いや測定方法を学ぶ。		
専門分野	有床義歯技工学 Dental Technology for Removable Dentures	〃	講義	60	4	30	30					欠損補綴治療における有床義歯技工学の意義を理解し、総義歯、部分床義歯の制作方法を学ぶ。	
	有床義歯技工学実習 1 Practice of Dental Technology for Removable Dentures 1	〃	実習	200	6	100	100					総義歯、部分床義歯の特色を理解し、基本的な技工操作を習得する。	
	有床義歯技工学実習 2 Practice of Dental Technology for Removable Dentures 2	〃	〃	60	2			60				総義歯の基本的な排列方法を習得する。	
	有床義歯技工学実習 3 Practice of Dental Technology for Removable Dentures 3	〃	〃	40	1			30	10			部分床義歯の維持装置、排列方法を習得する。	
	有床義歯技工学実習 4 Practice of Dental Technology for Removable Dentures 4	〃	〃	70	2					30	40	総義歯、部分床義歯の特色を理解し、技術の向上を目指す。	

歯科技工士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	歯冠修復技工学 Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations	〃	講義	60	4	30	30					補綴治療における歯冠修復技工学の意義を理解し、機能性と審美的回復を学ぶ。
	歯冠修復技工学実習1 Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations 1	〃	実習	160	5	80	80					歯冠の形態や機能、外観の修復を理解し、基本的な技工操作を習得する。
	歯冠修復技工学実習2 Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations 2	〃	〃	90	3			70	20			歯冠の形態や機能、外観の修復を理解し、基本的な技工操作を習得する。
	歯冠修復技工学実習3 Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations 3	〃	〃	90	3					50	40	歯冠補綴物の意義と目的を理解し、基本的な技工操作を習得する。
	歯冠修復技工学実習4 Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations 4	〃	〃	100	3			30	70			審美修復の意義と目的を理解し、メタルボンドクラウン製作の基本的な技工操作を習得する。
	矯正歯科技工学 Dental Technology for Orthodontic Appliances	〃	講義	15	1			15				矯正歯科治療の意義を理解し、矯正装置の制作方法を学ぶ。
	矯正歯科技工学実習 Practice of Dental Technology for Orthodontic Appliances	〃	実習	30	1			30				矯正装置の意義と目的を理解し基本的な制作方法を習得する。
	小児歯科技工学 Dental Technology for Pedodontic Appliances	〃	講義	15	1		15					小児の成長発育を理解し、小児歯科における装置の制作方法を学ぶ。
	小児歯科技工学実習 Practice of Dental Technology for Pedodontic Appliances	〃	実習	30	1		30					装置の意義と目的を理解し基本的な制作方法を習得する。
	顎顔面補綴学 Maxillofacial Prosthesis	〃	講義	38	2					38		顎および顔面欠損治療の意義を理解し、補綴装置の制作方法と患者の心理を学ぶ。
	顎顔面補綴学実習 Practice of Maxillofacial Prosthesis	〃	実習	102	3					102		装置の意義と目的を理解し基本的な制作方法を習得する。
	歯科技工実習1 Practice of Dental Technology	〃	〃	50	1		50					総合的に歯科技工の実習を習得する。
	歯科技工実習2 Practice of Dental Technology	〃	〃	30	1				30			総合的に歯科技工の実習を習得する。
	歯科技工実習3 Practice of Dental Technology	〃	〃	40	1					20	20	総合的に歯科技工の実習を習得する。
	歯科技工実習4 Practice of Dental Technology	〃	〃	120	4				120			歯科用CAD-CAMシステムの操作方法を習得し、オールセラミッククラウンを制作する。
	歯科技工実習5 Practice of Dental Technology	〃	〃	70	2				70			臨床的模型を用いて製作スケジュールを各自が管理し、定められた症例の装置を完成する。
	歯科技工実習6 Practice of Dental Technology	〃	〃	120	4						120	卒後を見据えた臨床的模型を用いて製作スケジュールを各自が管理し、定められた症例の装置を完成する。
	歯科技工実習7 Practice of Dental Technology	〃	〃	70	2						70	国家試験や卒後に役立つさまざまな技術について幅広く学ぶ。
	総合領域1 Synthetic Studies 1	〃	講義	60	4			60				国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。
	総合領域2 Synthetic Studies 2	〃	〃	30	2				30			国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。
総合領域3 Synthetic Studies 3	〃	〃	45	3					45		国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。	
総合領域4 Synthetic Studies 4	〃	〃	180	12						180	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。	
課題研究 Problem Research	〃	演習	100	3						100	設定されたテーマについて研究、考察し、自ら問題解決のできる能力を養う。	
総時間数				2825	117	470	510	460	455	440	490	

救急救命士学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学的思考の基盤	数学・物理学 Mathematics・Physics	必修	講義	46	3	14	32					公務員・社会人として求められる基礎学力が習得できる。
		生物学 Biology	必修	講義	16	1	16						公務員・社会人として求められる一般知識が習得できる。
		文章読解(国語・英語) Reading Comprehension	必修	講義	16	1	16						公務員・社会人として求められる一般知識が習得できる。
		情報科学 Information Processing	必修	演習	30	2			16	14			コンピュータ処理の実例を通して基礎を理解し、基本的な技術が習得できる。
		教育学 Pedagogy	必修	講義	16	1	16						教育の原理を基礎知識として人間形成における教育の機能を理解できる。
		心理学 Psychology	必修	講義	16	1	16						発達心理・人格形成・人間の行動等を理解できる。
		法と倫理 Law & Ethics	必修	講義	30	2	15						法学：現代法を中心に、基本権の構造および市民生活にかかわる法律的諸問題を理解できる。 倫理学：市民社会の成立・生命の尊厳・社会規範・宗教哲学等生命倫理をめぐる基本問題について理解できる。
	人間と人間生活	地理・歴史 Geography & History	必修	講義	32	2	16	16					公務員・社会人として求められる一般知識を養成する。
		政治・経済 Politics & Economics	必修	講義	16	1	16						公務員・社会人として求められる一般知識を養成する。
		英語(医療英語) Medical English	必修	講義	16	1	16						医療英語を中心に救急現場での可能性を考えた英語力が習得できる。
		英会話 English Conversation	必修	講義	16	1	16						コミュニケーション言語としての英会話の楽しさを学び日常生活でも活用できる。
		保健・体育学Ⅰ Health & Physical Education	必修	演習	32	2	16	16					基礎体力を保持し、健全な身体機能の理解、増強の方法を学ぶ。 就職に関する体力試験に向けて、自己の最大限の体力を発揮できるようになる。
		保健・体育学Ⅱ Health & Physical Education			32	2		16	16				基礎体力を保持し、健全な身体機能の理解、増強の方法を学ぶ。 就職に関する体力試験に向けて、自己の最大限の体力を発揮できるようになる。
		保健・体育学Ⅲ Health & Physical Education			76	5				46	30		基礎体力を保持し、健全な身体機能の理解、増強の方法を学ぶ。 就職に関する体力試験に向けて、自己の最大限の体力を発揮できるようになる。
専門基礎分野	構造人体の機能	解剖学・生理学 Anatomy・Physiology	必修	講義	60	4	60					人体の構造と機能を中心とした基礎的内容を習得できる。	
		生化学 Biochemistry	必修	講義	16	1	16					生体を構成する物質の構造と機能、生体内での代謝や疾病時の変化等について基礎的事項が理解できる。	

救急救命士学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	病理学・法医学 Pathology・ Forensic Medicine	必修	講義	32	2	18						病理学:疾病の要因・回復の過程など病理学の基礎的内容を理解できる。
							14					法律上の死の定義。問題となる医学的事項、損傷の成り立ちなどを中心に理解できる。
	微生物学 Microbiology	必修	講義	16	1		16				微生物の概要・感染・免疫・消毒と滅菌操作を中心に理解できる。	
	薬理学 Pharmacology	必修	講義	30	2		30				薬剤の作用機序・適応・使用量や患者におよぼす影響を中心に理解できる。	
	公衆衛生学 Public Health	必修	講義	16	1		16				健康の保持、予防医学の重要性を認識させ、公衆衛生分野が理解できる。	
健康と 社会保障	社会保障・社会福祉 Social Security ・Social Welfare	必修	講義	16	1		16				社会福祉と医療、社会保障の関連について理解できる。	
	救急医学概論	救急医療 Emergency medical care  I 医学概論 II 病院前救護 III 救急活動の基本 IV 医用電子工学 Medical an introduction Prehospital care Basics of emergency activities Medical electronics	必修	講義	48	3	12					医学概論:救急医学の本質・医学の発達・生命倫理と医の倫理(インフォームドコンセントを含む)などの基本的な考え方を理解できる。
							12				病院前救護:救急医療の意義や、救急医療体制、災害医療、メディカルコントロール、プレホスピタルケアとは何かを理解できる。	
							12				救急活動の基本:救急時における患者搬送の体制、方法等救急活動の基本的事項を中心に理解できる。	
							12				医用電子工学:救急分野で使用されるME機器の基本原理・基本操作・安全性等についての知識を習得できる。	
接遇と安全管理 Reception & Service		必修	講義	16	1			16			救急医療における安全管理と接遇要領について理解できる。	
観察・判断 Observation・Decision		必須	講義	20	1		20				救急患者に対しての全身および局所の観察、緊急度重症度の判断とその対応を習得できる。	
処置 Treatment		必須	講義	32	2		32				救急救命処置ならびに在宅養者に対する処置について、その概念、目的、適応、手技、評価、合併症、留意点などを理解し、実施できるようになる。	
検査学 Clinical Examination		必須	講義	16	1		16				救急医療における検査の目的、種類、評価方法が理解できる。	
放射線医学 Radiology		必須	講義	16	1		16				臨床で用いられる電磁放射線の基礎的事項と生物環境への影響、放射線防護などについて理解できる。	
救急 症候学・ 病態	心肺停止 Cardio-Pulmonary Arrest	必修	講義	30	2			30			心肺停止の判断や、病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。	
	ショック・循環不全 Shock・ Circulatory Failure	必修	講義	16	1			16			ショック・循環不全の病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。	

救急救命士学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
救急救命士学科 半 通 深 ・ 病  専門分野 疾病救急医 学 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関	意識障害 Conscious Disturbance	必修	講義	32	2			16	16			意識障害の病態生理と救急処置法などを 中心に理解できる。
	救急症候学 Emergency Symptomatology	必修	講義	46	3			46				各種疾患の症状・病態生理について理解 し、症状・病態ごとの観察・評価・処置 について理解できる。
	疾病救急医学Ⅰ (神経系・感覚器口腔系) Neural Diseases・Sensory & Oral Diseases	必修	講義	32	2			18				神経系疾患:神経の解剖・生理と主な疾患 の症状・評価・鑑別・救急処置などを中 心に理解できる。
	疾病救急医学Ⅱ (呼吸系・循環系) Respiratory Diseases ・Circulatory Diseases	必修	講義	32	2			16				呼吸系疾患:呼吸器の解剖・生理と主な疾 患の症状・評価・鑑別・救急処置などを 中心に理解できる。
									14			循環系疾患:心臓・血管の解剖・生理と主 な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置な どを中心に理解できる。
	疾病救急医学Ⅲ (消化系・ 泌尿生殖器系) Digestive Diseases・ Uro-Genital Diseases	必修	講義	26	1			16				消化系疾患:消化器の解剖・生理と主な疾 患の症状・評価・鑑別・救急処置などを 中心に理解できる。
									10			泌尿生殖器疾患:泌尿生殖器の解剖・生理 と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処 置などを中心に理解できる。
	疾病救急医学Ⅳ (内分泌代謝栄養系 ・血液免疫系) Humoral, Metabolic & Nutritional Diseases Blood & Immune Diseases	必修	講義	32	2			16				内分泌代謝栄養系疾患:内分泌器官・代謝 器官の解剖・生理と主な疾患の症状・評 価・鑑別・救急処置などを中心に理解で きる。
									16			血液免疫系疾患:血液・体液の解剖・生理 と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処 置などを中心に理解できる。
	疾病救急医学Ⅴ (筋骨格系・皮膚系) Musculo-Skeletal Diseases ・Skin Diseases	必修	講義	16	1				10			筋骨格系疾患:筋・骨格系の解剖・生理と 主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置 などを中心に理解できる。
									6			皮膚疾患:皮膚の構造と機能、皮膚疾患症 状・評価・鑑別・救急処置などを中心に 理解できる。
	産婦人科救急 Obstetric & Gynecologic Emergencies	必修	講義	16	1					16		産婦人科疾患・周産期疾患の特殊性と症 状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解 できる。
	精神科救急 Psychiatric Emergencies	必修	講義	16	1					16		精神障害の特殊性と症状・評価・鑑別・ 救急処置を中心に理解できる。
小児救急疾患 Pediatric Emergencies	必修	講義	16	1					16		小児・新生児疾患の特殊性と症状・評 価・鑑別・救急処置を中心に理解でき る。	
高齢者救急疾患 Geriatric Emergencies	必修	講義	16	1					16		高齢者疾患の特殊性と症状・評価・鑑 別・救急処置を中心に理解できる。	

救急救命士学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	外傷救急医学	一般外傷 Trauma	必修	講義	46	3			26	20			各外傷についての受傷機転、発生機序、病態、症状、評価・鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。
		特殊外傷 (熱傷電撃症化学損傷・ 異物縊頸刺咬傷) Burn・Foreign Body Hanging, Sting & Bite	必修	講義	16	1				8			熱傷電撃症化学損傷・熱傷・電撃傷・化学損傷の病態生理、症状、評価、鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。
	環境 中毒学・ 障害学	環境障害・急性中毒学 Environmental Diseases Poisoning	必修	講義	24	1			12				急性中毒・中毒の病態、症状、評価、鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。
										12			環境障害:環境因子による障害の発生機序、病態、症状、評価、鑑別、予後や救急処置等を理解できる。
	臨地実習	シミュレーション実習Ⅰ Simulation Training	必修	実習	316	7	136	180					規律訓練、ロープ結索、止血・固定法、安全な患者搬送方法及び観察行為を中心とした救急隊員が行える応急処置の範囲を習得。シミュレーション訓練において実施できるようになる。
		シミュレーション実習Ⅱ Simulation Training	必修	実習	316	7			136	180			医師の指示の下での救急救命処置を中心とした技術の習得。救急患者およびその家族に対するの接遇要領を学ぶ。シミュレーション訓練において実施できるようになる。
		シミュレーション実習Ⅲ Simulation Training	必修	実習	316	7					136	180	実践的なシミュレーション実習を通し、現場での対応力を習得する。即戦力となる知識・技術を身につけることができる。
		病院内実習 Clinical Training	必修	実習	168	3				168			救急医療機関・救急救命士の役割を知り、実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を実施できる。
		救急用自動車 ・同乗実習Ⅰ Ambulance Training	必修	実習	46	1			22	24			学内の救急車における同乗実習を通して救急処置の実践的な知識を習得できる。
		救急用自動車 ・同乗実習Ⅱ Ambulance Training	必修	実習	46	1					22	24	学内の救急車、もしくは消防における同乗実習を通して救急処置の実践的な知識と応用力を習得できる。
	総合	総合救急医療 General Emergency Medicine	必修	講義	300	20					50	250	救急救命士として求められる知識を総合的に習得できる。
	総時間数				2644	117	394	492	402	554	318	484	

救急救命士学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学的思考の基盤	数学・物理学 Mathematics・Physics	必修	講義	45	3	45						公務員・社会人として求められる基礎学力が習得できる。
		生物学 Biology	必修	講義	15	1	15						公務員・社会人として求められる一般知識が習得できる。
		文章読解(国語・英語) Reading Comprehension	必修	講義	15	1		15					公務員・社会人として求められる一般知識が習得できる。
		情報科学 Information Processing	必修	演習	30	1			16	14			コンピュータ処理の実例を通して基礎を理解し、基本的な技術が習得できる。
	人間と人間生活	教育学 Pedagogy	必修	講義	15	1	15						教育の原理を基礎知識として人間形成における教育の機能を理解できる。
		心理学 Psychology	必修	講義	15	1	15						発達心理・人格形成・人間の行動等を理解できる。
		法と倫理 Law & Ethics	必修	講義	30	2	15						法学：現代法を中心に、基本権の構造および市民生活にかかわる法律的諸問題を理解できる。
							15						倫理学：市民社会の成立・生命の尊厳・社会規範・宗教哲学等生命倫理をめぐる基本問題について理解できる。
		地理・歴史 Geography & History	必修	講義	30	2	15	15					公務員・社会人として求められる一般知識を養成する。
		政治・経済 Politics & Economics	必修	講義	15	1		15					公務員・社会人として求められる一般知識を養成する。
		英語(医療英語) Medical English	必修	講義	15	1	15						医療英語を中心に救急現場での可能性を考えた英語力が習得できる。
		英会話 English Conversation	必修	講義	15	1		15					コミュニケーション言語としての英会話の楽しさを学び日常生活でも活用できる。
		保健・体育学Ⅰ Health & Physical Education	必修	演習	30	1	15	15					基礎体力を保持し、健全な身体機能の理解、増強の方法を学ぶ。 就職に関する体力試験に向けて、自己の最大限の体力を発揮できるようになる。
		保健・体育学Ⅱ Health & Physical Education			30	1			15	15			
		保健・体育学Ⅲ Health & Physical Education			30	1					15	15	
		総合基礎Ⅰ General Basics	必修	講義	15	1	7	8					公務員・社会人として求められる一般知識を養成する。基礎学力の確認ができる。
		総合基礎Ⅱ General Basics	必修	講義	90	6			45	45			公務員・社会人として求められる一般知識・知能を習得できる。
		総合基礎Ⅲ General Basics	必修	講義	255	17					200	55	公務員・社会人として求められる一般知識・知能を習得し、模擬試験・解説授業を通して総合的な判断力を養うことができる。
		専門基礎分野	構造と機能	解剖学・生理学 Anatomy・Physiology	必修	講義	60	4	60				
生化学 Biochemistry	必修			講義	15	1	15					生体を構成する物質の構造と機能、生体内での代謝や疾病時の変化等について基礎的事項が理解できる。	

救急救命士学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門基礎分野	疾患の成り立ちと回復の過程 病理学・法医学 Pathology・ Forensic Medicine	必修	講義	30	2	17						病理学：疾病の要因・回復の過程など病理学の基礎的内容が理解できる。		
								13					法律上の死の定義。問題となる医学的事項、損傷の成り立ちなどを中心に理解できる。	
								15					微生物の概要・感染・免疫・消毒と滅菌操作を中心に理解できる。	
	社会健康と 社会保障	必修	講義	15	1							健康の保持、予防医学の重要性を認識させ、公衆衛生分野が理解できる。		
						必修	講義	15	1					社会福祉と医療、社会保障の関連について理解できる。
										30				
専門基礎分野総括 Brushing up of the Specialized Basic Field		必修	講義	30	2	15	15				専門基礎分野について、復習と仕上げができ、模擬試験・授業を通して総合的な判断力を養うことができる。			
専門分野	救急医療Ⅰ (概論・Ⅰ・Ⅱ・ 医用電子工学) Emergency Medical Philosophy Emergency Medical Treatment Medical Electronic Engineering	必修	講義	45	3	11						医学概論：救急医学の本質・医学の発達・生命倫理と医の倫理(インフォームドコンセントを含む)などの基本的な考え方を理解できる。		
								12					救急医療Ⅰ：救急医療の意義や、救急医療体制、災害医療、メディカルコントロール、プレホスピタルケアとは何かを理解できる。	
								11					救急医療Ⅱ：救急時における患者搬送の体制、方法等救急活動の基本的事項を中心に理解できる。	
								11					医用電子工学：救急分野で使用されるME機器の基本原理・基本操作・安全性等についての知識を習得できる。	
	救急医学概論	救急医療Ⅱ (接遇と安全管理) Reception & Service	必修	講義	15	1			15			救急医療における安全管理と接遇要領について理解できる。		
		観察・判断 Observation・Decision	必須	講義	20	1		20				救急患者に対しての全身および局所の観察、緊急度重症度の判断とその対応を習得できる。		
		処置 Treatment	必須	講義	40	2		40				救急救命処置ならびに在宅療養者に対する処置について、その概念、目的、適応、手技、評価、合併症、留意点などを理解し、実施できるようになる。		
		検査学 Clinical Examination	必須	講義	15	1		15				救急医療における検査の目的、種類、評価方法が理解できる。		
		放射線医学 Radiology	必須	講義	15	1		15				臨床で用いられる電磁放射線の基礎的事項と生物環境への影響、放射線防護などについて理解できる。		
		救急医学概論総括 Brushing up of General Emergency Medicine		必須	講義	30	2	15		15			救急医学概論について、復習と仕上げができ、模擬試験・授業を通して総合的な判断力を養うことができる。	
病態生理学・ 救急症候学	心肺停止 Cardio-Pulmonary Arrest	必修	講義	30	2			30			心肺停止の判断や、病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。			
	ショック・循環不全 Shock・ Circulatory Failure	必修	講義	15	1			15			ショック・循環不全の病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。			

救急救命士学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
救急症候・病態生理学  専門分野  疾病救急医学	意識障害 Conscious Disturbance	必修	講義	15	1			15				意識障害の病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。
	救急症候学 Emergency Symptomatology	必修	講義	45	3			45				各種疾患の症候・病態生理について理解し、症候・病態ごとの観察・評価・処置について理解できる。
	救急症候・病態生理学総括 Brushing up of Emergency Symptomatology & Pathophysiology	必修	講義	30	2			30				救急症候・病態生理学について、復習と仕上げができ、模擬試験・授業を通して総合的な判断力を養うことができる。
	疾病救急医学Ⅰ (神経系・感覚器口腔系) Neural Diseases・Sensory & Oral Diseases	必修	講義	30	2			17				神経系疾患:神経の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
								13		感覚器系疾患:感覚器(眼科・耳鼻咽喉科・口腔外科)分野の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。		
	疾病救急医学Ⅱ (呼吸系・循環系) Respiratory Diseases ・Circulatory Diseases	必修	講義	32	2			16				呼吸系疾患:呼吸器の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
								16		循環系疾患:心臓・血管の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。		
	疾病救急医学Ⅲ (消化系・泌尿生殖系) Digestive Diseases・ Uro-Genital Diseases	必修	講義	25	1			16				消化系疾患:消化器の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
								9		泌尿生殖系疾患:泌尿生殖器の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。		
	疾病救急医学Ⅳ (内分泌代謝栄養系 ・血液免疫系) Humoral, Metabolic & Nutritious Diseases Blood & Immune Diseases	必修	講義	32	2			16				内分泌代謝栄養系疾患:内分泌器官・代謝器官の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
								16		血液免疫系疾患:血液・体液の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。		
	疾病救急医学Ⅴ (筋骨格系・皮膚系) Musculo-Skeletal Diseases ・Skin Diseases	必修	講義	15	1				9			筋骨格系疾患:筋・骨格系の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
								6		皮膚疾患:皮膚の構造と機能、皮膚疾患症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。		
	産婦人科救急 Obstetric & Gynecologic Emergencies	必修	講義	16	1			16				産婦人科疾患・周産期疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。
	精神科救急 Psychiatric Emergencies	必修	講義	16	1			16				精神障害の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。
小児救急疾患 Pediatric Emergencies	必修	講義	32	2					32		小児・新生児疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。	
高齢者救急疾患 Geriatric Emergencies	必修	講義	16	1					16		高齢者疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。	
疾病救急医学総括 Brushing up of Emergency Medicine of Diseases	必修	講義	30	2			15	15			疾病救急医学について、復習と仕上げができ、模擬試験・授業を通して総合的な判断力を養うことができる。	

救急救命士学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門分野	外傷救急医学	一般外傷 Trauma	必修	講義	45	3			25	20			各外傷についての受傷機転、発生機序、病態、症状、評価・鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。	
		特殊外傷 (熱傷電撃症化学損傷・異物縊頸刺咬傷) Burn・Foreign Body Hanging, Sting & Bite	必修	講義	16	1				8			熱傷電撃症化学損傷:熱傷・電撃傷・化学損傷の病態生理、症状、評価、鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。	
	急性環境中毒学・	環境障害・急性中毒学 Environmental Diseases Poisoning	必修	講義	24	1			12				急性中毒:中毒の病態、症状、評価、鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。	
										12			環境障害:環境因子による障害の発生機序、病態、症状、評価、鑑別、予後や救急処置等を理解できる。	
	外傷救急医学総括 Brushing up of Emergency Medicine of Traumas		必修	講義	30	2			15	15			外傷救急医学(環境障害・急性中毒を含む)について、復習と仕上げができ、模擬試験・授業を通して総合的な判断力を養うことができる。	
	臨地実習	シミュレーション実習Ⅰ Simulation Training	必修	実習	270	6	135	135					規律訓練、ロープ結索、止血・固定法、安全な患者搬送方法及び観察行為を中心とした救急隊員が行える応急処置の範囲を習得。シミュレーション訓練において実施できるようになる。	
		シミュレーション実習Ⅱ Simulation Training	必修	実習	270	6			135	135			医師の指示の下での救急救命処置を中心とした技術の習得。救急患者およびその家族に対しての接遇要領を学ぶ。シミュレーション訓練において実施できるようになる。	
		シミュレーション実習Ⅲ Simulation Training	必修	実習	360	8					180	180	実践的なシミュレーション実習を通し、現場での対応力を習得する。即戦力となる知識・技術を身につけることができる。	
		病院内実習 Clinical Training	必修	実習	168	3				168			救急医療機関・救急救命士の役割を知り、実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を実施できる。	
		救急用自動車・同乗実習Ⅰ Ambulance Training	必修	実習	45	1			20	25			学内の救急車における同乗実習を通して救急処置の実践的な知識を習得できる。	
救急用自動車・同乗実習Ⅱ Ambulance Training		必修	実習	45	1					20	25	学内の救急車、もしくは消防における同乗実習を通して救急処置の実践的な知識と応用力を習得できる。		
総合救急医療	総合救急医療Ⅰ General Emergency Medicine	必修	講義	15	1	8	7					専門基礎分野を通して、救急救命士として求められる基礎分野の知識を習得できる。		
	総合救急医療Ⅱ General Emergency Medicine	必修	講義	15	1			8	7			専門分野を通して、救急救命士として求められる知識を総合的に習得できる。		
	総合救急医療Ⅲ General Emergency Medicine	必修	講義	150	10					30	120	救急救命士として求められる知識を総合的に習得できる。		
総時間数						2912	135	444	456	522	602	493	395	

救急救命士学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
													前期
基礎分野	科学的思考の基礎	数学・物理学Ⅰ Mathematics-Physics	必修	講義	30	2	4	26					公務員・社会人として求められる基礎学力が習得できる。
		数学・物理学Ⅱ Mathematics-Physics	必修	講義	24	1					24		公務員・社会人として求められる応用力が習得できる。
		生物学 Biology	必修	講義	16	1	16						公務員・社会人として求められる一般知識が習得できる。
		文章読解(国語・英語) Reading Comprehension	必修	講義	16	1		16					公務員・社会人として求められる一般知識が習得できる。
		情報科学 Information Processing	必修	演習	32	2	32						コンピュータ処理の実例を通して基礎を理解し、基本的な技術が習得できる。
	人間と人間生活	教育学 Pedagogy	必修	講義	16	1	16						教育の原理を基礎知識として人間形成における教育の機能を理解できる。
		心理学 Psychology	必修	講義	16	1	16						発達心理・人格形成・人間の行動等を理解できる。
		法と倫理 Law & Ethics	必修	講義	20	1	10						法学・現代法を中心に、基本権の構造および市民生活にかかわる法的諸問題を理解できる。
							10						倫理学：市民社会の成立・生命の尊厳・社会規範・宗教哲学等生命倫理をめぐる基本問題について理解できる。
		社会学 Sociology	必修	講義	24	1		24				公務員・社会人として求められる一般知識を養成する。	
		英語(医療英語) Medical English	必修	講義	16	1	16						医療英語を中心に救急現場での可能性を考えた英語力が習得できる。
		英会話 English Conversation	必修	講義	16	1		16					コミュニケーション言語としての英会話の楽しさを学び日常生活でも活用できる。
		保健・体育学Ⅰ Health & Physical Education	必修	演習	20	1	10	10					基礎体力を保持し、健全な身体機能の理解、増強の方法を学ぶ。就職に関する体力試験に向けて、自己の最大限の体力を発揮できるようになる。
		保健・体育学Ⅱ Health & Physical Education	必修	演習	20	1			10	10			基礎体力を保持し、健全な身体機能の理解、増強の方法を学ぶ。就職に関する体力試験に向けて、自己の最大限の体力を発揮できるようになる。
	保健・体育学Ⅲ Health & Physical Education	必修	演習	34	2					30	4	基礎体力を保持し、健全な身体機能の理解、増強の方法を学ぶ。就職に関する体力試験に向けて、自己の最大限の体力を発揮できるようになる。	
	専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学・生理学 Anatomy-Physiology	必修	講義	46	3	46					人体の構造と機能を中心とした基礎的内容を習得できる。
			臨床解剖生理学 Clinical Aspects on Anatomy & Physiology	必修	講義	16	1					16	解剖生理学について総合的に理解し、説明できる。
			生化学 Biochemistry	必修	講義	16	1	16					生体を構成する物質の構造と機能、生体内での代謝や疾病時の変化等について基礎的事項が理解できる。
			病理学・法医学 Pathology・Forensic Medicine	必修	講義	32	2	18					
必修	講義	14								法律上の死の定義、問題となる医学的事項、損傷の成り立ちなどを中心に理解できる。			

救急救命士学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	微生物学 Microbiology	必修	講義	16	1		16					微生物の概要・感染・免疫・消毒と滅菌操作を中心に理解できる。
	薬理学 Pharmacology	必修	講義	30	2	30						薬剤の作用機序・適応・使用量や患者におよぼす影響を中心に理解できる。
	公衆衛生学 Public Health	必修	講義	16	1		16					健康の保持、予防医学の重要性を認識させ、公衆衛生分野が理解できる。
	社会保障・社会福祉 Social Security -Social Welfare	必修	講義	16	1		16					社会福祉と医療、社会保障の関連について理解できる。
専門分野	救急医療 Emergency medical care  I 医学概論 II 病院前救護 III 救急活動の基本 IV 医用電子工学 Medical an introduction Prehospital care Basics of emergency activities Medical electronics	必修	講義	48	3	12						医学概論:救急医学の本質・医学の発達・生命倫理と医の倫理(インフォームドコンセントを含む)などの基本的な考え方を理解できる。
							12					病院前救護:救急医療の意義や、救急医療体制、災害医療、メディカルコントロール、プレホスピタルケアとは何かを理解できる。
							12					救急活動の基本:救急時における患者搬送の体制、方法等救急活動の基本的事項を中心に理解できる。
							12					医用電子工学:救急分野で使用されるME機器の基本原理・基本操作・安全性等についての知識を習得できる。
	接遇と安全管理 Reception & Service	必修	講義	16	1				16			救急医療における安全管理と接遇要領について理解できる。
	観察・判断 Observation-Decision	必須	講義	20	1		20					救急患者に対しての全身および局所の観察、緊急度重症度の判断とその対応を習得できる。
	処置 Treatment	必修	講義	32	2		32					救急救命処置ならびに在宅療養者に対する処置について、その概念、目的、適応、手技、評価、合併症、留意点などを理解し、実施できるようになる。
	検査学 Clinical Examination	必修	講義	16	1		16					救急医療における検査の目的、種類、評価方法が理解できる。
	放射線医学 Radiology	必修	講義	16	1		16					臨床で用いられる電磁放射線の基礎的事項と生物環境への影響、放射線防護などについて理解できる。
	心肺停止 Cardio-Pulmonary Arrest	必修	講義	30	2			30				心肺停止の判断や、病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。
	ショック・循環不全 Shock・Circulatory Failure	必修	講義	16	1			16				ショック・循環不全の病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。
	意識障害 Conscious Disturbance	必修	講義	32	2			16	16			意識障害の病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。
救急症候学 Emergency Symptomatology	必修	講義	46	3			46				各種疾患の症候・病態生理について理解し、症候・病態ごとの観察・評価・処置について理解できる。	

救急救命士学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野 疾病救急医学	疾病救急医学Ⅰ (神経系・感覚器口腔系) Neural Diseases・Sensory & Oral Diseases	必修	講義	32	2			18				神経系疾患:神経の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
									14			感覚器系疾患:感覚器(眼科・耳鼻咽喉科・口腔外科)分野の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
	疾病救急医学Ⅱ (呼吸系・循環系) Respiratory Diseases ・Circulatory Diseases	必修	講義	32	2			16				呼吸系疾患:呼吸器の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
								16			循環系疾患:心臓・血管の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。	
	疾病救急医学Ⅲ (消化系・ 泌尿生殖系) Digestive Diseases・ Uro-Genital Diseases	必修	講義	26	1			16				消化系疾患:消化器の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
									10		泌尿生殖系疾患:泌尿生殖器の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。	
	疾病救急医学Ⅳ (内分泌代謝栄養系 ・血液免疫系) Humoral, Metabolic & Nutritious Diseases ・Blood & Immune Diseases	必修	講義	16	1				8			内分泌代謝栄養系疾患:内分泌器官・代謝器官の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
									8		血液免疫系疾患:血液・体液の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。	
	疾病救急医学Ⅴ (筋骨格系・皮膚系) Musculo-Skeletal Diseases Skin Diseases	必修	講義	16	1				10			筋骨格系疾患:筋・骨格系の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
									6		皮膚疾患:皮膚の構造と機能、皮膚疾患症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。	
産婦人科救急 Obstetric & Gynecologic Emergencies	必修	講義	16	1					16		産婦人科疾患・周産期疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。	
精神科救急 Psychiatric Disorder	必修	講義	16	1					16		精神障害の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。	
小児救急疾患 Pediatric Emergencies	必修	講義	16	1					16		小児・新生児疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。	
高齢者救急疾患 Geriatric Emergencies	必修	講義	16	1					16		高齢者疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。	

救急救命士学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	外傷救急医学	一般外傷 Trauma	必修	講義	46	3			26	20			各外傷についての受傷機転、発生機序、病態、症状、評価、鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。
		特殊外傷 (熱傷電撃症化学損傷・異物鋭頭刺咬傷) Burn・Foreign Body・Hanging・Sting & Bite	必修	講義	16	1				8			熱傷電撃症化学損傷・熱傷・電撃傷・化学損傷の病態生理、症状、評価、鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。
	環境障害学・急性中毒学	環境障害・急性中毒学 Environmental Diseases・Poisoning	必修	講義	24	1				12			急性中毒：中毒の病態、症状、評価、鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。
										12			環境障害：環境因子による障害の発生機序、病態、症状、評価、鑑別、予後や救急処置等を理解できる。
	臨地実習	シミュレーション実習Ⅰ Simulation Training	必修	実習	316	7	136	180					規律訓練、ロープ作業、止血・固定法、安全な患者搬送方法及び搬送行為を中心とした救急隊員が行える応急処置の範囲を習得。シミュレーション訓練において実施できるようになる。
		シミュレーション実習Ⅱ Simulation Training	必修	実習	316	7			136	180			講師の指示の下での救急救命処置を中心とした技術の習得。救急患者およびその家族に対する接遇要領を学ぶ。シミュレーション訓練において実施できるようになる。
		シミュレーション実習Ⅲ Simulation Training	必修	実習	316	7					136	180	実践的なシミュレーション実習を通し、現場での対応力を習得する。即戦力となる知識・技術を身につけることができる。
		病院内実習 Clinical Training	必修	実習	168	3				168			救急医療機関・救急救命士の役割を知り、実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を実施できる。
		救急用自動車 - 同乗実習Ⅰ Ambulance Training	必修	実習	46	1			20	26			学内の救急車における同乗実習を通して救急処置の実践的な知識を習得できる。
		救急用自動車 - 同乗実習Ⅱ Ambulance Training	必修	実習	46	1					20	26	学内の救急車、もしくは消防における同乗実習を通して救急処置の実践的な知識と応用力を習得できる。
総合	総合救急医療 General Emergency Medicine	必修	講義	226	15					50	176	救急救命士として求められる知識を総合的に習得できる。	
総時間数				2466	103	414	428	366	532	324	402		

救急救命士学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学的思考の基盤	数学・物理学 Mathematics-Physics	必修	講義	30	2		30					公務員・社会人として求められる基礎学力が習得できる。
		生物学 Biology	必修	講義	15	1	15						公務員・社会人として求められる一般知識が習得できる。
		文章読解(国語・英語) Reading Comprehension	必修	講義	15	1		15					公務員・社会人として求められる一般知識が習得できる。
		情報科学 Information Processing	必修	演習	30	1	30						コンピュータ処理の実例を通して基礎を理解し、基本的な技術が習得できる。
	人間と人間生活	教育学 Pedagogy	必修	講義	15	1	15						教育の原理を基礎知識として人間形成における教育の機能を理解できる。
		心理学 Psychology	必修	講義	15	1	15						発達心理・人格形成・人間の行動等を理解できる。
		法と倫理 Law & Ethics	必修	講義	20	1	10						法学：現代法を中心に、基本権の構造および市民生活にかかわる法的諸問題を理解できる。
							10						倫理学：市民社会の成立・生命の尊厳・社会規範・宗教哲学等生命倫理をめぐる基本問題について理解できる。
		社会学 Sociology	必修	講義	24	1		24					公務員・社会人として求められる一般知識を養成する。
		英語(医療英語) Medical English	必修	講義	15	1	15						医療英語を中心に救急現場での可能性を考えた英語力が習得できる。
		英会話 English Conversation	必修	講義	15	1		15					コミュニケーション言語としての英会話の楽しさを学び日常生活でも活用できる。
		保健・体育学 Health & Physical Education	必修	演習	30	1	4	18	4		4		基礎体力を保持し、健全な身体機能の理解、増強の方法を学ぶ。 就職に関する体力試験に向けて、自己の最大限の体力を発揮できるようになる。
	総合基礎Ⅰ General Basics	必修	講義	30	2		30						公務員・社会人として求められる一般知識を養成する。基礎学力の確認ができる。
	総合基礎Ⅱ General Basics	必修	講義	60	4			30	30				公務員・社会人として求められる一般知識・知能を習得できる。
総合基礎Ⅲ General Basics	必修	講義	180	12					125	55		公務員・社会人として求められる一般知識・知能を習得し、模擬試験・解説授業を通して総合的な判断力を養うことができる。	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学・生理学 Anatomy-Physiology	必修	講義	45	3	45						人体の構造と機能を中心とした基礎的内容を習得できる。
		臨床解剖生理学 Clinical Aspects on Anatomy & Physiology	必修	講義	15	1					15		解剖生理学について総合的に理解し、説明できる。
		生化学 Biochemistry	必修	講義	15	1	15						生体を構成する物質の構造と機能、生体内での代謝や疾病時の変化等について基礎的事項が理解できる。
	疾患の成り立ちと回復の過程	病理学・法医学 Pathology・Forensic Medicine	必修	講義	30	2	17						病理学：疾病の要因・回復の過程など病理学の基礎的内容をが理解できる。
必修			講義	13							法律上の死の定義。問題となる医学的事項、損傷の成り立ちなどを中心にが理解できる。		

救急救命士学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	微生物学 Microbiology	必修	講義	15	1		15					微生物の概要・感染・免疫・消毒と滅菌操作を中心に理解できる。
	薬理学 Pharmacology	必修	講義	30	2	30						薬剤の作用機序・適応・使用量や患者におよぼす影響を中心に理解できる。
	公衆衛生学 Public Health	必修	講義	15	1		15					健康の保持、予防医学の重要性を認識させ、公衆衛生分野が理解できる。
	社会保障・社会福祉 Social Security ・Social Welfare	必修	講義	15	1		15					社会福祉と医療、社会保障の関連について理解できる。
	専門基礎分野総括 Brushing up of the Specialized Basic Field	必修	講義	15	1		15					専門基礎分野について、復習と仕上げができ、模擬試験・授業を通して総合的な判断力を養うことができる。
専門分野	救急医療Ⅰ (概論・Ⅰ・Ⅱ・ 医用電子工学) Emergency Medical Philosophy Emergency Medical Treatment Medical Electronic Engineering	必修	講義	45	3		11					医学概論:救急医学の本質・医学の発達・生命倫理と医の倫理(インフォームドコンセントを含む)などの基本的な考え方を理解できる。
								12				救急医療Ⅰ:救急医療の意義や、救急医療体制、災害医療、メディカルコントロール、プレホスピタルケアとは何かを理解できる。
								11				救急医療Ⅱ:救急時における患者搬送の体制、方法等救急活動の基本的事項を中心に理解できる。
								11				医用電子工学:救急分野で使用されるME機器の基本原理・基本操作・安全性等についての知識を習得できる。
	救急医療Ⅱ (接遇と安全管理) Reception & Service	必須	講義	15	1				15			救急医療における安全管理と接遇要領について理解できる。
	観察・判断 Observation・Decision	必須	講義	20	1			20				救急患者に対しての全身および局所の観察、緊急度重症度の判断とその対応を習得できる。
	処置 Treatment	必修	講義	36	2			36				救急救命処置ならびに在宅療養者に対する処置について、その概念、目的、適応、手技、評価、合併症、留意点などを理解し、実施できるようになる。
	検査学 Clinical Examination	必修	講義	15	1			15				救急医療における検査の目的、種類、評価方法が理解できる。
	放射線医学 Radiology	必修	講義	15	1			15				臨床で用いられる電磁放射線の基礎的事項と生物環境への影響、放射線防護などについて理解できる。
	救急医学概論総括 Brushing up of General Emergency Medicine	必修	講義	15	1				15			救急医学概論について、復習と仕上げができ、模擬試験・授業を通して総合的な判断力を養うことができる。
救急症候・病態生理学	心肺停止 Cardio-Pulmonary Arrest	必修	講義	30	2			30				心肺停止の判断や、病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。
	ショック・循環不全 Shock・ Circulatory Failure	必修	講義	15	1			15				ショック・循環不全の病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。
	意識障害 Conscious Disturbance	必修	講義	15	1			15				意識障害の病態生理と救急処置法などを中心に理解できる。

救急救命士学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専 門 分 野	救急症候学・ 病態生理	救急症候学 Emergency Symptomatology	必修	講義	45	3			45			各種疾患の症候・病態生理について理解し、症候・病態ごとの観察・評価・処置について理解できる。
		救急症候・ 病態生理学総括 Brushing up of Emergency Symptomatology & Pathophysiology	必須	講義	15	1			15			救急症候・病態生理学について、復習と仕上げができ、模擬試験・授業を通して総合的な判断力を養うことができる。
	疾病救急医学	疾病救急医学Ⅰ (神経系・感覚器口腔系) Neural Diseases・Sensory & Oral Diseases	必修	講義	30	2			17			神経系疾患:神経の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
									13		感覚器系疾患:感覚器(眼科・耳鼻咽喉科・口腔外科)分野の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。	
		疾病救急医学Ⅱ (呼吸系・循環系) Respiratory Diseases ・Circulatory Diseases	必修	講義	32	2			16			呼吸系疾患:呼吸器の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
									16		循環系疾患:心臓・血管の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。	
		疾病救急医学Ⅲ (消化系・ 泌尿生殖系) Digestive Diseases・ Uro-Genital Diseases	必修	講義	25	1			16			消化系疾患:消化器の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
									9		泌尿生殖系疾患:泌尿生殖器の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。	
		疾病救急医学Ⅳ (内分泌代謝栄養系 ・血液免疫系) Humoral, Metabolic & Nutritious Diseases ・Blood & Immune Diseases	必修	講義	16	1			8			内分泌代謝栄養系疾患:内分泌器官・代謝器官の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
									8		血液免疫系疾患:血液・体液の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。	
		疾病救急医学Ⅴ (筋骨格系・皮膚系) Musculo-Skeletal Diseases Skin Diseases	必修	講義	15	1			9			筋骨格系疾患:筋・骨格系の解剖・生理と主な疾患の症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。
									6		皮膚疾患:皮膚の構造と機能、皮膚疾患症状・評価・鑑別・救急処置などを中心に理解できる。	
		産婦人科救急 Obstetric & Gynecologic Emergencies	必修	講義	16	1			16			産婦人科疾患・周産期疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。
精神科救急 Psychiatric Disorder	必修	講義	16	1			16			精神障害の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。		
小児救急疾患 Pediatric Emergencies	必修	講義	32	2					32	小児・新生児疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。		
高齢者救急疾患 Geriatric Emergencies	必修	講義	16	1					16	高齢者疾患の特殊性と症状・評価・鑑別・救急処置を中心に理解できる。		
疾病救急医学総括 Brushing up of Emergency Medicine of Diseases	必修	講義	15	1				15		疾病救急医学について、復習と仕上げができ、模擬試験・授業を通して総合的な判断力を養うことができる。		

救急救命士学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	一般外傷 Trauma	必修	講義	45	3			25	20			各外傷についての受傷機転、発生機序、病態、症状、評価・鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。	
	特殊外傷 (熱傷電撃症化学損傷・異物総頸刺咬傷) Burn・Foreign Body, Hanging, Sting & Bite	必修	講義	16	1				8			熱傷電撃症化学損傷:熱傷・電撃傷・化学損傷の病態生理、症状、評価、鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。	
									8			異物総頸刺咬傷:特殊な外傷について、病態、症状、評価・鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。	
	環境障害・急性中毒学 Environmental Diseases・Poisoning	必修	講義	24	1				12			急性中毒:中毒の病態、症状、評価、鑑別、予後や救急処置・搬送方法等について理解できる。	
									12			環境障害:環境因子による障害の発生機序、病態、症状、評価、鑑別、予後や救急処置等を理解できる。	
	外傷救急医学総括 Brushing up of Emergency Medicine of Traumas	必修	講義	15	1				15			外傷救急医学(環境障害・急性中毒を含む)について、復習と仕上げができ、模擬試験・授業を通して総合的な判断力を養うことができる。	
	シミュレーション実習Ⅰ Simulation Training	必修	実習	270	6	135	135					規律訓練、ロープ結索、止血・固定法、安全な患者搬送方法及び観察行為を中心とした救急隊員が行える応急処置の範囲を習得。シミュレーション訓練において実施できるようになる。	
	シミュレーション実習Ⅱ Simulation Training	必修	実習	270	6			135	135			医師の指示の下での救急救命処置を中心とした技術の習得。救急患者およびその家族に対するの接遇要領を学ぶ。シミュレーション訓練において実施できるようになる。	
	シミュレーション実習Ⅲ Simulation Training	必修	実習	360	8					180	180	実践的なシミュレーション実習を通し、現場での対応力を習得する。即戦力となる知識・技術を身につけることができる。	
	病院内実習 Clinical Training	必修	実習	168	3				168			救急医療機関・救急救命士の役割を知り、実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を実施できる。	
	救急用自動車 ・同乗実習Ⅰ Ambulance Training	必修	実習	45	1			20	25			学内の救急車における同乗実習を通して救急処置の実践的な知識を習得できる。	
	救急用自動車 ・同乗実習Ⅱ Ambulance Training	必修	実習	45	1					20	25	学内の救急車、もしくは消防における同乗実習を通して救急処置の実践的な知識と応用力を習得できる。	
	総合救急医療Ⅰ General Emergency Medicine	必修	講義	15	1	8	7					専門基礎分野を通して、救急救命士として求められる基礎分野の知識を習得できる。	
総合救急医療Ⅱ General Emergency Medicine	必修	講義	15	1			8	7			専門分野を通して、救急救命士として求められる知識を総合的に習得できる。		
総合救急医療Ⅲ General Emergency Medicine	必修	講義	150	10					30	120	救急救命士として求められる知識を総合的に習得できる。		
総時間数						2621	117	399	443	439	538	407	395

鍼灸師学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年			2年			3年			講義概要
						1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
基礎分野	情報科学 Information Processing	必修	講義	24	1	24									パソコンによる情報処理技術の基礎的な操作技術、ITリテラシーが習得できる。
	生物学 Biology	必修	講義	48	3	24	24								解剖学・生理学の基礎となる、生命現象の基礎が習得できる。
	コミュニケーション学 Communication Studies	必修	講義	48	3	24	24								発達心理、人格形成、人間の行動などが理解できる。
	外国語① Foreign Language	必修	講義	48	3		24	24							医学英語の習得とともに、英語による患者とのコミュニケーション方法が習得できる。
	外国語② Foreign Language	必修	講義	24	1				24						中国語の読み書き、会話、および中国の文化などが習得できる。
	保健体育 Health and Physical Education	必修	講義	48	3						24	24			スポーツマッサージ、スポーツ傷害の発生・予防法などが習得できる。
	マネジメント学 Management Studies	必修	講義	24	1							24			鍼灸院開業に際して必要な知識、想定される諸問題の解決方法が理解できる。
	自然療法概説 Outline of Naturopathy	必修	講義	24	1	24									芳香療法（アロマセラピー）を理解、活用できる。
専門基礎分野	解剖学① Anatomy	必修	講義	72	4	24	24	24							人体の構造を中心とした基礎的内容が習得できる。
	解剖学② Anatomy	必修	講義	72	4	24	24	24							人体の構造を中心とした基礎的内容が習得できる。
	生理学① Physiology	必修	講義	72	4	24	24	24							人体の機能を中心とした基礎的内容が習得できる。
	生理学② Physiology	必修	講義	72	4	24	24	24							人体の機能を中心とした基礎的内容が習得できる。
	解剖生理学 Anatomy and Physiology	必修	講義	72	4				24	24	24				人体の構造と機能を総合的に理解できる。
	病理学概論 Outline of Pathology	必修	講義	48	3				24	24					疾病の原因、病理学像などの基礎的内容が習得できる。
	臨床医学総論① Clinical Medicine in General	必修	講義	72	4				24	24	24				主に西洋医学的な立場からの疾病の診断方法などが習得できる。
	臨床医学総論② Clinical Medicine in General	必修	講義	72	4						24	24	24		主に西洋医学的な立場からの疾病の診断方法などが習得できる。
	臨床医学各論① Clinical Medicine Part	必修	講義	72	4				24	24	24				主に西洋医学的な立場から疾病の定義、症状、身体所見、検査所見、治療法などが習得できる。
	臨床医学各論② Clinical Medicine Part	必修	講義	24	1					24					主に西洋医学的な立場から疾病の定義、症状、身体所見、検査所見、治療法などが習得できる。
	臨床医学各論③ Clinical Medicine Part	必修	講義	48	3						24	24			主に西洋医学的な立場から疾病の定義、症状、身体所見、検査所見、治療法などが習得できる。
	リハビリテーション 医学① Rehabilitation Medicine	必修	講義	24	1						24				リハビリテーションの概念、方法、対象疾患毎の具体的ケアなどについて理解できる。
	リハビリテーション 医学② Rehabilitation Medicine	必修	講義	96	6						48	24	24		リハビリテーションの概念、方法、対象疾患毎の具体的ケアなどについて理解できる。

鍼灸師学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年			2年			3年			講義概要	
						1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期		
専門基礎分野	はりおよびきゆうの理念 保健医療福祉と	医療概論 Outline of Medicine	必修	講義	24	1			24							医学の本質、医学の発達、医療従事者の倫理、およびあはき史を習得できる。
		衛生学公衆衛生学① Hygiene and Public Health	必修	講義	24	1			24							健康や保健に関する問題が理解できる。
		衛生学公衆衛生学② Hygiene and Public Health	必修	講義	24	1				24						健康や保健に関する問題が理解できる。
専門分野	基礎 はりきゆう学	東洋医学概論① Outline of Oriental Medicine	必修	講義	48	3		24	24							自然観、疾病の原因、病理学像等の東洋医学的な基礎理論を学ぶ。
		東洋医学概論② Outline of Oriental Medicine	必修	講義	48	3				24	24					自然観、疾病の原因、病理学像等の東洋医学的な基礎理論が修得できる。
		経絡経穴概論① Outline of the Meridians and Acupuncture Points	必修	講義	72	4	24	24	24							経絡・経穴の概念、位置、機能などが理解でき、活用することができる。
		経絡経穴概論② Outline of the Meridians and Acupuncture Points	必修	講義	24	1				24						経絡・経穴の概念、位置、機能などが理解でき、活用することができる。
	臨床 はりきゆう学	はりきゆう理論① Scientific Foundation of Acupuncture	必修	講義	24	1	24									鍼灸の治効理論、生体への効果などが理解できる。
		はりきゆう理論② Scientific Foundation of Acupuncture	必修	講義	48	3				24	24					鍼灸の治効理論、生体への効果などが理解できる。
		東洋医学臨床論① Clinical Oriental Medicine	必修	講義	76	5				24	24	28				主に東洋医学的な立場から疾病の診断、治療方法などが理解でき、施術の適応の判断ができる。
		東洋医学臨床論② Clinical Oriental Medicine	必修	講義	48	3					24	24				主に東洋医学的な立場から疾病の診断、治療方法、生態の観察方法などが理解でき、施術の適応の判断ができる。
		東洋医学臨床論③ Clinical Oriental Medicine	必修	講義	24	1						24				主に東洋医学的な立場から疾病の診断、病態生理の理解、治療方法などが理解でき、施術の適応の判断ができる。
	関係法規 Legal Issues in Medicine	必修	講義	48	3							24	24		あはき法など、鍼灸師に関連する法規が理解できる。	
	実習	はりきゆう実技① Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2	24	24	24							鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゆう実技② Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2	24	24	24							鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゆう実技③ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2	24	24	24							鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゆう実技④ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	48	1		24	24							鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゆう実技⑤ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2				24	24	24				鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。

鍼灸師学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年			2年			3年			講義概要	
						1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期		
専 門 分 野	実 習	はりきゅう実技⑥ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2				24	24	24				鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゅう実技⑦ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2				24	24	24				鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゅう実技⑧ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2				24	24	24				鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゅう実技⑨ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	144	4							48	48	48	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゅう実技⑩ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2							24	24	24	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゅう実技⑪ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	48	1								24	24	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		臨床実習① Clinical Education	必修	実習	60	1				24	12	24				患者への施術を通し、卒業後の臨床現場を想定した諸問題の解決方法が理解、活用できる。
		臨床実習② Clinical Education	必修	実習	136	3							48	48	40	患者への施術を通し、卒業後の臨床現場を想定した諸問題の解決方法が理解、活用できる。
	総 合 領 域	総合領域① Synthetic Studies	必修	講義	72	4							24	24	24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
		総合領域② Synthetic Studies	必修	講義	72	4							24	24	24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
		総合領域③ Synthetic Studies	必修	講義	24	1									24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
		総合領域④ Synthetic Studies	必修	講義	24	1									24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
		総合領域⑤ Synthetic Studies	必修	講義	24	1									24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
総合領域⑥ Synthetic Studies		必修	講義	24	1									24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。	
総時間数				2888	130	312	312	312	312	324	316	336	336	328		

鍼灸師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年			2年			3年			講義概要	
						1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期		
基礎分野	生物学 Biology	必修	講義	48	3	24	24								解剖学・生理学の基礎となる、生命現象の基礎が習得できる。	
	コミュニケーション学 Communication Studies	必修	講義	48	3	24	24								発達心理、人格形成、人間の行動などが理解できる。	
	外国語① Foreign Language	必修	講義	48	3		24	24							医学英語の習得とともに、英語による患者とのコミュニケーション方法が習得できる。	
	外国語② Foreign Language	必修	講義	24	1				24						中国語の読み書き、会話、および中国の文化などが習得できる。	
	保健体育 Health and Physical Education	必修	講義	48	3						24	24			スポーツマッサージ、スポーツ傷害の発生・予防法などが習得できる。	
	マネジメント学 Management Studies	必修	講義	24	1							24			鍼灸院開業に際して必要な知識、想定される諸問題の解決方法が理解できる。	
	自然療法概説 Outline of Naturopathy	必修	講義	24	1	24									芳香療法（アロマテラピー）を理解、活用できる。	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学① Anatomy	必修	講義	72	4	24	24	24						人体の構造を中心とした基礎的内容が習得できる。	
		解剖学② Anatomy	必修	講義	72	4	24	24	24						人体の構造を中心とした基礎的内容が習得できる。	
		生理学① Physiology	必修	講義	72	4	24	24	24						人体の構造を中心とした基礎的内容が習得できる。	
		生理学② Physiology	必修	講義	72	4	24	24	24						人体の構造を中心とした基礎的内容が習得できる。	
		解剖生理学 Anatomy and Physiology	必修	講義	72	4				24	24	24				人体の構造と機能を総合的に理解できる。
	疾病の成り立ち、その予防および回復の促進	病理学概論 Outline of Pathology	必修	講義	48	3				24	24					疾病の原因、病理学像などの基礎的内容が習得できる。
		臨床医学総論① Clinical Medicine in General	必修	講義	72	4				24	24	24				主に西洋医学的な立場からの疾病の診断方法などが習得できる。
		臨床医学総論② Clinical Medicine in General	必修	講義	72	4						24	24	24		主に西洋医学的な立場からの疾病の診断方法などが習得できる。
		臨床医学各論① Clinical Medicine Part	必修	講義	72	4				24	24	24				主に西洋医学的な立場から疾病の定義、症状、身体所見、検査所見、治療法などが習得できる。
		臨床医学各論② Clinical Medicine Part	必修	講義	24	1					24					主に西洋医学的な立場から疾病の定義、症状、身体所見、検査所見、治療法などが習得できる。
		臨床医学各論③ Clinical Medicine Part	必修	講義	48	3						24	24			主に西洋医学的な立場から疾病の定義、症状、身体所見、検査所見、治療法などが習得できる。
		リハビリテーション医学① Rehabilitation Medicine	必修	講義	24	1						24				リハビリテーションの概念、方法、対象疾患毎の具体的なケアなどについて理解できる。
		リハビリテーション医学② Rehabilitation Medicine	必修	講義	72	4							24	24	24	リハビリテーションの概念、方法、対象疾患毎の具体的なケアなどについて理解できる。

鍼灸師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年			2年			3年			講義概要
						1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
専門基礎分野	はりおよびきゆうの理念 保健医療福祉と	医療概論 Outline of Medicine	必修	講義	24	1			24						医学の本質、医学の発達、医療従事者の倫理、およびあはき史を習得できる。
		衛生学公衆衛生学① Hygiene and Public Health	必修	講義	24	1			24						健康や保健に関する問題が理解できる。
		衛生学公衆衛生学② Hygiene and Public Health	必修	講義	24	1				24					健康や保健に関する問題が理解できる。
専門分野	基礎 はりきゆう学	東洋医学概論① Outline of Oriental Medicine	必修	講義	48	3		24	24						自然観、疾病の原因、病理学像等の東洋医学的な基礎理論を学ぶ。
		東洋医学概論② Outline of Oriental Medicine	必修	講義	48	3				24	24				自然観、疾病の原因、病理学像等の東洋医学的な基礎理論が修得できる。
		経絡経穴概論① Outline of the Meridians and Acupuncture Points	必修	講義	72	4	24	24	24						経絡・経穴の概念、位置、機能などが理解でき、活用することができる。
		経絡経穴概論② Outline of the Meridians and Acupuncture Points	必修	講義	24	1				24					経絡・経穴の概念、位置、機能などが理解でき、活用することができる。
	臨床 はりきゆう学	はりきゆう理論① Scientific Foundation of Acupuncture	必修	講義	24	1	24								鍼灸の治効理論、生体への効果などが理解できる。
		はりきゆう理論② Scientific Foundation of Acupuncture	必修	講義	48	3				24	24				鍼灸の治効理論、生体への効果などが理解できる。
		東洋医学臨床論① Clinical Oriental Medicine	必修	講義	76	5				24	24	28			主に東洋医学的な立場から疾病の診断、治療方法などが理解でき、施術の適応の判断ができる。
		東洋医学臨床論② Clinical Oriental Medicine	必修	講義	48	3					24	24			主に東洋医学的な立場から疾病の診断、治療方法、生体の観察方法などが理解でき、施術の適応の判断ができる。
		東洋医学臨床論③ Clinical Oriental Medicine	必修	講義	24	1						24			主に東洋医学的な立場から疾病の診断、病態生理の理解、治療方法などが理解でき、施術の適応の判断ができる。
	さ や ま は り	関係法規 Legal Issues in Medicine	必修	講義	48	3						24	24		あはき法など、鍼灸師に関連する法規が理解できる。
	実習	はりきゆう実技① Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2	24	24	24						鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゆう実技② Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2	24	24	24						鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゆう実技③ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2	24	24	24						鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゆう実技④ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2				24	24	24			鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。
		はりきゆう実技⑤ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2				24	24	24			鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。

鍼灸師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年			2年			3年			講義概要	
						1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期		
専門分野	実習	はりきゅう実技⑥ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2				24	24	24			鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。	
		はりきゅう実技⑦ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2						24	24	24	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。	
		はりきゅう実技⑧ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2						24	24	24	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。	
		はりきゅう実技⑨ Practice of Acupuncture and Moxibustion	必修	実習	72	2						24	24	24	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法が習得、活用できる。	
		臨床実習① Clinical Education	必修	実習	90	2				24	42	24			患者への施術を通し、卒業後の臨床現場を想定した諸問題の解決方法が理解、活用できる。	
		臨床実習② Clinical Education	必修	実習	90	2						30	30	30	患者への施術を通し、卒業後の臨床現場を想定した諸問題の解決方法が理解、活用できる。	
	総合領域	総合領域① Synthetic Studies	必修	講義	72	4							24	24	24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
		総合領域② Synthetic Studies	必修	講義	72	4							24	24	24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
		総合領域③ Synthetic Studies	必修	講義	24	1									24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
		総合領域④ Synthetic Studies	必修	講義	24	1									24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
		総合領域⑤ Synthetic Studies	必修	講義	24	1									24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
		総合領域⑥ Synthetic Studies	必修	講義	24	1									24	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について理解することができる。
総時間数				2656	123	288	288	288	288	330	292	294	294	294		

柔道整復師学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学的思考の 基礎 人間と生活	キャリアデザイン講座1 Course of Career Design 1	必修	講義	30	2	30						社会人基礎力を学ぶことにより、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力を習得する。
		キャリアデザイン講座2 Course of Career Design 2	〃	〃	30	2	30						医療を学ぶ上での基礎知識を学び、科学的視点、論理的思考を身につける。
		栄養学 Nutrition	〃	〃	30	2		30					患者の治療に携わる際の栄養指導の基礎を習得する。
		医学英語 Medical English	〃	〃	30	2	30						コミュニケーションのためのレッスンを中心に柔道整復/医療に結びつく英語の習得。
		社会福祉学 Social Welfare	〃	〃	30	2		30					社会福祉の概念と社会福祉政策の現状と介護福祉について学ぶ。
		心理学 Psychology	〃	〃	30	2				30			自分を知ることから始め、患者心理を学ぶ。
		ソーシャルスキル講座 Course of social skills	〃	〃	30	2					30		社会における対人関係、目標達成に対する思考、行動、技能、また療養費などを学ぶ。
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学1 Anatomy 1	〃	〃	30	2	30						人体の機能構造を学ぶ。身体の構築、特に骨・関節・筋を中心に理解する。 1. 人体解剖学概説 2. 運動器系 3. 脈管系 4. 消化器系 5. 呼吸器系
		解剖学2 Anatomy 2	〃	〃	30	2		30					人体の機能構造を学ぶ。身体の構築、特に内臓器を中心に理解する。 6. 泌尿器系 7. 生殖系 8. 内分泌系 9. 神経系 10. 感覚器系 11. 体表解剖
		生理学1 Physiology 1	〃	〃	30	2	30						人体の生理機能を学ぶ。身体の生命現象について理解する。 1. 総論 2. 血液と循環 3. 呼吸 4. 栄養と代謝 5. 消化と吸収 6. 体温とその調節
		生理学2 Physiology 2	〃	〃	30	2		30					人体の生理機能を学ぶ。身体の生命現象について理解する。 7. 尿の生成と排泄 8. 内分泌 9. 骨の生理 10. 神経 11. 筋肉の機能 12. 感覚の生理 13. 生殖
		生理学3 Physiology 3	〃	〃	30	2			30				高齢者・競技者の生理学的特徴・変化を学ぶ。
		解剖生理学1 Anatomy and Physiology 1	〃	〃	30	2			30				人体の構造と機能を学び、統合的に理解する。 循環器系・消化器系・呼吸器系
		解剖生理学2 Anatomy and Physiology 2	〃	〃	30	2				30			人体の構造と機能を学び、統合的に理解する。 泌尿器系・生殖器系・神経系・感覚器系
		運動学 Kinesiology	必修	講義	30	2				30			
専門基礎分野	疾病と傷害	リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	〃	〃	15	1				15			リハビリテーション医学への理解を深め、その知識と技術を学ぶ。 1. 総論 2. 障害 3. 評価 4. 治療 5. 治療各論
		一般臨床医学 General remarks of Clinical Medicine	〃	〃	30	2				30			内科疾患を中心に、診断、治療法を学ぶ。 1. 診察概論 2. 診察各論(問診・視診・打診・聴診・触診・生命徴候・知覚検査・反射検査) 3. 検査法 4. 主要な疾患
		整形外科学 Orthopedic Surgery	〃	〃	30	2				30			整形外科の診断法と整形外科疾患を学ぶ。 総論：1. 診断法と検査法 2. 治療概論 3. 外傷総論 各論：1. 先天性骨系統疾患 2. 感染性軟部 3. 非感染性軟部組織・関節疾患 4. 骨端症 5. 骨・軟部腫瘍 6. 汎発性骨疾患 7. 神経および筋の疾患 8. 一般外傷・障害

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2025年度以降の柔道整復師学科入学生（昼間部）に適用する

柔道整復師学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
疾病と傷害	病理学概論 Introduction of Pathology	〃	〃	30	2					30		疾病における臓器、組織、細胞の形態変化を学ぶ。 1. 病理学の意義 2. 疾病の一般 3. 病因 4. 退行性病変 5. 循環障害 6. 進行性病変 7. 炎症 8. 免疫異常・アレルギー 9. 腫瘍 10. 先天性異常
	外科学概論 Introduction of Surgery	〃	〃	30	2				30			外科学の基礎と外科疾患を学ぶ。 1. 損傷 2. 炎症 3. 外科的感染症 4. 腫瘍 5. ショック 6. 失血と輸血・輸液 7. 滅菌法と消毒法 8. 手術 9. 麻酔 10. 移植 11. 止血 12. ショック対策 13. 蘇生法 14. 頭部・顔面部外傷 15. 意識障害 16. けいれん 17. 脳卒中 18. 脊椎損傷 19. 胸部外傷 20. 腹部外傷
	衛生学・公衆衛生学 Hygiene and Public Health	〃	〃	30	2				30			環境保健、地域の公衆衛生を学ぶ。 1. 衛生学ならびに公衆衛生学の意義 2. 環境衛生 3. 公衆衛生 4. 感染症 5. 消毒
	基礎鑑別学 Difference Diagnosis Basic	〃	〃	30	2				30			対象となる運動器疾患が業務範囲にあたるのかを適切に判断、施術できる能力を養う。
	関係法規 Legal Issues in Medicine	〃	〃	30	2				30			柔道整復師業務に従事する上で必要な法令、法規を学ぶ。
	柔道1 Judo 1	〃	実習	30	1	30						柔道の技術と礼儀作法を基礎から身につける。
	柔道2 Judo 2	〃	〃	30	1		30					柔道の一步進んだ技術と礼儀作法を身につける。
	柔道3 Judo 3	〃	〃	30	1				30			柔道の技術と礼儀作法を学び、形（手技・腰技）を習得する。
	柔道4 Judo 4	〃	〃	30	1					30		柔道の技術と礼儀作法を学び、形（足技）を習得する。
	柔道概論 Introduction of Judo	〃	講義	30	2					30		柔道、柔道整復術を通して治療に対する思考や職業倫理を学ぶ。
社会保障	社会保障論 Social Security	〃	〃	15	1					15		医療費などの社会保障制度を理解し、健康や障害に応じた社会資源の活用ができる知識を学ぶ。
基礎柔道整復学	柔整総論1 General Judo Therapy 1	〃	〃	30	2	30						柔道整復学総論（骨折・脱臼）を学ぶ。
	柔整総論2 General Judo Therapy 2	〃	〃	30	2	30						柔道整復学総論（診察・治療法）を学ぶ。
	柔整総論3 General Judo Therapy 3	〃	〃	30	2	30						柔道整復学総論（軟部組織損傷）を学ぶ。
基礎柔道整復学	柔整基礎講座 Course of Basic Judo Therapy	〃	講義	30	2	30						柔道整復術の習得に必要な人体の基礎を学ぶ。
	フィジカル エクササイズ講座 Course of physical exercise Skill	必修	演習	30	2		30					柔道整復師の施術に必要なとなる人体の基礎および筋力強化、運動療法について学ぶ。
	後療法学 Arter Treatment of Injury	〃	講義	15	1					15		外傷の経過および治療判断方法を学ぶ。
臨床柔道整復学	臨床柔整学 基礎各論1 Clinical Judo Therapy Basic 1	〃	〃	30	2		30					柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 基礎各論2 Clinical Judo Therapy Basic 2	〃	〃	30	2		30					柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 基礎各論3 Clinical Judo Therapy Basic 3	〃	〃	30	2		30					柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 基礎各論4 Clinical Judo Therapy Basic 4	〃	〃	30	2		30					柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2025年度以降の柔道整復師学科（昼間部）入学生に適用する

柔道整復師学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
臨床柔道整復学	臨床柔整学 応用各論 1 Clinical Judo Therapy Advanced 1	〃	〃	30	2			30				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 応用各論 2 Clinical Judo Therapy Advanced 2	〃	〃	30	2			30				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 応用各論 3 Clinical Judo Therapy Advanced 3	〃	〃	30	2			30				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	柔整応用鑑別学 Judo Therapy Differential Diagnosis Advance	〃	〃	30	2					30		施術における損傷の適不適を判断できるよう医用画像診断を学ぶ。
	物理療法学 Physical Therapy Equipment	〃	〃	15	1		15					物理療法機器の原理、作用などを学ぶ。
専門分野  柔道整復実技	基礎包帯固定学 1 Basic Method of Bandage and Fixation Procedures 1	〃	実習	30	1	30						巻軸包帯を用いた手関節周囲の基礎包帯法を学ぶ。
	基礎包帯固定学 2 Basic Method of Bandage and Fixation Procedures 2	〃	〃	30	1		30					巻軸包帯を用いた基礎包帯法や、三角巾による固定法、副子などの作成過程を学ぶ。
	柔整コンディショニング 実習 1 Judo Therapy Conditioning Skill Practice 1	〃	〃	30	1			30				実習を通じて固定法などの身体のコンディショニングスキル（治療技術含む）を習得する。
	柔整コンディショニング 実習 2 Judo Therapy Conditioning Skill Practice 2	〃	〃	30	1			30				実習を通じてコンディショニングスキル（ストレッチング方法、固定法など含む）の治療技術を習得する。
	外傷予防理論実習 1 Injury Prevention Conditioning Skill Practice 1	〃	〃	30	1				30			高齢者の生理学的特徴を活用し、外傷予防の手法を身に付ける。
	外傷予防理論実習 2 Injury Prevention Conditioning Skill Practice 2	〃	〃	30	1					30		競技者の生理学的特徴を活用し、外傷予防の手法を身に付ける。
	柔道整復実技 1 Judo Therapy Practical Training 1	〃	実習	30	1			30				柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
	柔道整復実技 2 Judo Therapy Practical Training 2	〃	〃	30	1			30				柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
	柔道整復実技 3 Judo Therapy Practical Training 3	〃	〃	30	1				30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
	柔道整復実技 4 Judo Therapy Practical Training 4	〃	〃	30	1				30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
	柔道整復実技 5 Judo Therapy Practical Training 5	〃	〃	30	1				30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
	柔道整復実技 6 Judo Therapy Practical Training 6	〃	〃	30	1				30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
	柔整外傷学実習 1 Judo Therapy and Traumatology Practice 1	必修	〃	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。
	柔整外傷学実習 2 Judo Therapy and Traumatology Practice 2	〃	〃	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。
	柔整外傷学実習 3 Judo Therapy and Traumatology Practice 3	〃	〃	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。
柔整外傷学実習 4 Judo Therapy and Traumatology Practice 4	〃	〃	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	
柔整外傷学実習 5 Judo Therapy and Traumatology Practice 5	〃	〃	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2025年度以降の柔道整復師学科（昼間部）入学生に適用する

柔道整復師学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	臨床実習1 Clinical Training 1	〃	〃	45	1		45					臨床実習を行う。
	臨床実習2 Clinical Training 2	〃	〃	45	1			45				臨床実習を行う。
	臨床実習3 Clinical Training 3	〃	〃	45	1				45			臨床実習を行う。
	臨床実習4 Clinical Training 4	〃	〃	45	1					45		臨床実習を行う。
その他	柔道解剖A Anatomy of Judo Therapy A	〃	講義	30	2	30						柔道整復師として必要な解剖学（特に上肢の骨学・筋学・関節運動）を総合的に学ぶ。
	柔道解剖B Anatomy of Judo Therapy B	〃	〃	30	2		30					柔道整復師として必要な解剖学（特に下肢・骨格の骨学・筋学・関節運動）を総合的に学ぶ。
	柔道生理A Physiology of Judo Therapy A	〃	〃	30	2	30						柔道整復師として必要な生理学（骨・筋・神経などを中心）を総合的に学ぶ。
	柔道生理B Physiology of Judo Therapy B	〃	〃	30	2		30					柔道整復師として必要な生理学（消化・吸収・代謝などを中心）を総合的に学ぶ。
	ボディメイクトレーナー 講座1 Course of Bodymaking Trainer Skill 1	〃	実習	30	1	30						ボディメイクトレーナーに必要な理論と実技を学ぶ。
	ボディメイクトレーナー 講座2 Course of Bodymaking Trainer Skill 2	〃	〃	30	1	30						ボディメイクトレーナーに必要な理論と実技を学ぶ。
	ボディメイクトレーナー 講座3 Course of Bodymaking Trainer Skill 3	〃	〃	30	1			30				ボディメイクトレーナーに必要な理論と実技を学ぶ。
	手技療法1 Manual Therapy Skill Training 1	〃	実習	30	1	30						柔道整復業務に必要な手技において基本形を学ぶ。
	手技療法2 Manual Therapy Skill Training 2	〃	〃	30	1		30					症状によって手技を使い分け実践に近い手技を学ぶ。
	基礎医学講座 Course of Basic Medicine	〃	〃	30	1	30						医学を学ぶ上で必要な基礎知識を学ぶ。
	課題研究 Project Studies	〃	演習	30	2				30			設定したテーマについて研究、考察することで考え、行動し、自ら問題解決のできる能力を養うことを目的とする。
	フィジカルイグザミネーション Physical Examination Skill	〃	実習	30	1				30			正常な人体について幅広く学ぶ。
	柔道整復応用講座1 Course of Judo Therapy Advanced 1	〃	講義	15	1				15			柔道整復師として必要な運動学を学ぶ。
	柔道整復応用講座2 Course of Judo Therapy Advanced 2	〃	〃	30	2			30				柔道整復師として必要なリハビリテーション医学を学ぶ。
	柔道整復応用講座3 Course of Judo Therapy Advanced 3	〃	〃	30	2			30				柔道整復師として必要な一般臨床医学を学ぶ。
	柔道整復応用講座4 Course of Judo Therapy Advanced 4	〃	〃	15	1				15			柔道整復師に必要な整形外科学を学ぶ。
	柔道整復応用講座5 Course of Judo Therapy Advanced 5	〃	〃	15	1				15			柔道整復師として必要な病理学を学ぶ。
柔道整復応用講座6 Course of Judo Therapy Advanced 6	〃	〃	30	2				30			柔道整復師に必要な外科学を学ぶ。	
柔道整復応用講座7 Course of Judo Therapy Advanced 7	必修	〃	15	1				15			柔道整復師として必要な衛生学を学ぶ。	

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2025年度以降（昼間部）の柔道整復師学科入学生に適用する

柔道整復師学科（昼間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
その他	柔整医学演習1 Medical Practice of Judo Therapy 1	〃	演習	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習2 Medical Practice of Judo Therapy 2	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習3 Medical Practice of Judo Therapy 3	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習4 Medical Practice of Judo Therapy 4	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習5 Medical Practice of Judo Therapy 5	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習6 Medical Practice of Judo Therapy 6	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習7 Medical Practice of Judo Therapy 7	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習8 Medical Practice of Judo Therapy 8	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習9 Medical Practice of Judo Therapy 9	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習10 Medical Practice of Judo Therapy 10	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習11 Medical Practice of Judo Therapy 11	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習12 Medical Practice of Judo Therapy 12	〃	演習	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習13 Medical Practice of Judo Therapy 13	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習14 Medical Practice of Judo Therapy 14	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習15 Medical Practice of Judo Therapy 15	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習16 Medical Practice of Judo Therapy 16	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習17 Medical Practice of Judo Therapy 17	〃	〃	15	1					15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
総時間数				2955	161	510	480	495	570	480	420	

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2024年度以前の柔道整復師学科（昼間部）入学生に適用する

柔道整復師学科（昼間部）

系列	開講科目名 （英語表記）	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	キャリアデザイン講座 1 Course of Career Design 1	必修	講義	30	2	30						社会人基礎力を学ぶことにより、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力を習得する。
	キャリアデザイン講座 2 Course of Career Design 2	〃	〃	30	2	30						医療を学ぶ上での基礎知識を学び、科学的視点、論理的思考を身につける。
	栄養学 Nutrition	〃	〃	30	2	30						患者の治療に携わる際の栄養指導の基礎を習得する。
	医学英語 Medical English	〃	〃	30	2	30						コミュニケーションのためのレッスンを中心に柔道整復/医療に結びつく英語の習得。
	社会福祉学 Social Welfare	〃	〃	30	2		30					社会福祉の概念と社会福祉政策の現状と介護福祉について学ぶ。
	心理学 Psychology	〃	〃	30	2			30				自分を知ることから始め、患者心理を学ぶ。
	経営マネジメント Office Management	〃	〃	30	2					30		経営学の基礎と。開業に際して必要な知識を学ぶ。
専門基礎分野	解剖学 1 Anatomy 1	〃	〃	30	2	30						人体の機能構造を学ぶ。身体の構築、特に骨・関節・筋を中心に理解する。 1. 人体解剖学概説 2. 運動器系 3. 脈管系 4. 消化器系 5. 呼吸器系
	解剖学 2 Anatomy 2	〃	〃	30	2		30					人体の機能構造を学ぶ。身体の構築、特に内臓器を中心に理解する。 6. 泌尿器系 7. 生殖器系 8. 内分泌系 9. 神経系 10. 感覚器系 11. 体表解剖
	生理学 1 Physiology 1	〃	〃	30	2	30						人体の生理機能を学ぶ。身体の生命現象について理解する。 1. 総論 2. 血液と循環 3. 呼吸 4. 栄養と代謝 5. 消化と吸収 6. 体温とその調節
	生理学 2 Physiology 2	〃	〃	30	2		30					人体の生理機能を学ぶ。身体の生命現象について理解する。 7. 尿の生成と排泄 8. 内分泌 9. 骨の生理 10. 神経 11. 筋肉の機能 12. 感覚の生理 13. 生殖
	生理学 3 Physiology 3 【高齢者・競技者の生理学的特徴・変化】	〃	〃	30	2			30				高齢者・競技者の生理学的特徴・変化を学ぶ。
	解剖生理学 1 Anatomy and Physiology 1	〃	〃	30	2			30				人体の構造と機能を学び、統合的に理解する。 循環器系・消化器系・呼吸器系
	解剖生理学 2 Anatomy and Physiology 2	〃	〃	30	2				30			人体の構造と機能を学び、統合的に理解する。 泌尿器系・生殖器系・神経系・感覚器系
造人 と 体 機 能 構	運動学 Kinesiology	必修	講義	30	2			30				人体の運動機能を、骨、筋肉、関節を中心に学ぶ。骨・関節・筋の構造と機能を理解する。 1. 運動学総論 2. 運動器の構造と機能 3. 運動の発現と制御 4. 頭・頸部・四肢と体幹の運動 5. 姿勢運動発達歩行

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2024年度以前の柔道整復師学科入学生（昼間部）に適用する

柔道整復師学科（昼間部）

専門基礎分野	疾病と傷害	リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	〃	〃	30	2			30		リハビリテーション医学への理解を深め、その知識と技術を学ぶ。 1.総論 2.障害 3.評価 4.治療 5.治療各論
		一般臨床医学 General remarks of Clinical Medicine	〃	〃	30	2			30		内科疾患を中心に、診断、治療法を学ぶ。 1.診察概論 2.診察各論(問診・視診・打診・聴診・触診・生命徴候・知覚検査・反射検査) 3.検査法 4.主要な疾患
		整形外科学 Orthopedic Surgery	〃	〃	15	1			15		整形外科の診断法と整形外科疾患を学ぶ。 総論：1.診断法と検査法 2.治療概論 3.外傷総論 各論：1.先天性骨系統疾患 2.感染性軟部 3.非感染性軟部組織・関節疾患 4.骨端症 5.骨・軟部腫瘍 6.汎発性骨疾患 7.神経および
		病理学概論 Introduction of Pathology	〃	〃	30	2			30		疾病における臓器、組織、細胞の形態変化を学ぶ。 1.病理学の意義 2.疾病の一般 3.病因 4.退行性病変 5.循環障害 6.進行性病変 7.炎症 8.免疫異常・アレルギー 9.腫瘍 10.先天性異常
		外科学概論 Introduction of Surgery	〃	〃	30	2			30		外科学の基礎と外科疾患を学ぶ。 1.損傷 2.炎症 3.外科的感染症 4.腫瘍 5.ショック 6.失血と輸血・輸液 7.滅菌法と消毒法 8.手術 9.麻酔 10.移植 11.止血 12.ショック対策 13.蘇生法 14.頭部・顔面部外傷 15.意識障害 16.けいれん 17.脳卒中 18.
		衛生学・公衆衛生学 Hygiene and Public Health	〃	〃	30	2			30		環境保健、地域の公衆衛生を学ぶ。 1.衛生学ならびに公衆衛生学の意義 2.環境衛生 3.公衆衛生 4.感染症 5.消毒
	術の適応	柔道整復	基礎鑑別学	〃	〃	30	2		30		対象となる運動器疾患が業務範囲にあたるのかを適切に判断、施術できる能力を養う。
	保健医療福祉と柔道整復の理念	関係法規 Legal Issues in Medicine	〃	〃	30	2			30		柔道整復師業務に従事する上で必要な法令、法規を学ぶ。
		柔道1 Judo 1	〃	実習	30	1	30				柔道の技術と礼儀作法を基礎から身につける。
		柔道2 Judo 2	〃	〃	30	1		30			柔道の一步進んだ技術と礼儀作法を身につける。
		柔道3 Judo 3	〃	〃	30	1			30		柔道の技術と礼儀作法を学び、形（手技・腰技）を習得する。
		柔道4 Judo 4	〃	〃	30	1				30	柔道の技術と礼儀作法を学び、形（足技）を習得する。
柔道概論 Introduction of Judo 【職業倫理を含む】	〃	講義	30	2				30	柔道の歴史・考え方を通して、礼節作法を学ぶ。また職業倫理について学ぶ。		
社会制度	社会保障	社会保障論	〃	〃	15	1			15	医療費などの社会保障制度を理解し、健康や障害に応じた社会資源の活用ができる知識を学ぶ。	

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2024年度以前の柔道整復師学科（昼間部）入学生に適用する

柔道整復師学科（昼間部）

基礎柔道整復学	柔整総論 1 General Judo Therapy 1	〃	〃	30	2	30					柔道整復学総論（骨折・脱臼）を学ぶ。
	柔整総論 2 General Judo Therapy 2	〃	〃	30	2	30					柔道整復学総論（軟部組織損傷）を学ぶ。
	柔整総論 3 General Judo Therapy 3	〃	〃	30	2	30					柔道整復学総論（治療法）を学ぶ。
基礎柔道整復学	柔整基礎講座 1 Course of Basic Judo Therapy 1	必修	演習	30	2	30					柔道整復術の習得に必要な人体の基礎を学ぶ。
	柔整基礎講座 2 Course of Basic Judo Therapy 2	〃	〃	30	2	30					柔道整復術の習得に必要な人体の基礎を学ぶ。
	後療法学 【外傷の保存療法】	〃	講義	15	1				15		外傷の経過および治療判断方法を学ぶ。
臨床柔道整復学	臨床柔整学 基礎各論 1 Clinical Judo Therapy	〃	〃	30	2	30					柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 基礎各論 2 Clinical Judo Therapy	〃	〃	30	2	30					柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 基礎各論 3 Clinical Judo Therapy	〃	〃	30	2	30					柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 基礎各論 4 Clinical Judo Therapy	〃	〃	30	2	30					柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 応用各論 1 Clinical Judo Therapy	〃	〃	30	2		30				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 応用各論 2 Clinical Judo Therapy	〃	〃	30	2		30				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 応用各論 3 Clinical Judo Therapy	〃	〃	30	2		30				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	柔整応用鑑別学 【医用画像の理解】	〃	〃	30	2				30		施術における損傷の適不適を判断できるように医用画像診断を学ぶ。
	物理療法学 【物理療法機器の取り扱い】	〃	〃	15	1		15				物理療法機器の原理、作用などを学ぶ。
	柔道整復実技	基礎包帯固定学 1 Basic Method of Bandage and Fixation Procedures 1	〃	実習	30	1	30				
基礎包帯固定学 2 Basic Method of Bandage and Fixation Procedures 2		〃	〃	30	1	30					巻軸包帯を用いた基礎包帯法や、三角巾による固定法、副子などの作成過程を学ぶ。
柔整コンディショニング実習 1 Judo Therapy		〃	〃	30	1		30				実習を通じて固定法などの身体コンディショニングスキル（治療技術含む）を習得する。
柔整コンディショニング実習 2 Judo Therapy		〃	〃	30	1			30			実習を通じてコンディショニングスキル（ストレッチング方法、固定法など含む）の治療技術を習得する。
外傷予防理論実習 1 【高齢者の外傷予防】		〃	〃	30	1			30			高齢者の生理学的特徴を活用し、外傷予防の手法を身に付ける。
外傷予防理論実習 2 【競技者の外傷予防】		〃	〃	30	1				30		競技者の生理学的特徴を活用し、外傷予防の手法を身に付ける。
柔道整復実技 1 Judo Therapy Practical Training 1		〃	〃	30	1		30				柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
柔道整復実技 2 Judo Therapy Practical Training 2		〃	〃	30	1		30				柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
柔道整復実技 3 Judo Therapy Practical Training 3		〃	〃	30	1			30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
柔道整復実技 4 Judo Therapy Practical Training 4		〃	〃	30	1			30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2024年度以前の柔道整復師学科（昼間部）入学生に適用する

柔道整復師学科（昼間部）

専門分野	柔道整復実技	柔道整復実技5 Judo Therapy Practical Training 5	必修	実習	30	1			30		柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
		柔道整復実技6 Judo Therapy Practical Training 6	"	"	30	1			30		柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
		柔整外傷学実習1 Judo Therapy and Traumatology Practice 1	"	"	30	1			30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。
		柔整外傷学実習2 Judo Therapy and Traumatology Practice 2	"	"	30	1			30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。
		柔整外傷学実習3 Judo Therapy and Traumatology Practice 3	"	"	30	1			30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。
		柔整外傷学実習4 Judo Therapy and Traumatology Practice 4	"	"	30	1			30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。
		柔整外傷学実習5 Judo Therapy and Traumatology Practice 5	"	"	30	1			30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。
臨床実習	臨床実習1 Clinical Training 1	"	"	45	1		45			附属接骨院にて臨床実習を行う。	
	臨床実習2 Clinical Training 2	"	"	45	1		45			附属接骨院にて臨床実習を行う。	
	臨床実習3 Clinical Training 3	"	"	45	1			45		外部接骨院にて臨床実習を行う。	
	臨床実習4 Clinical Training 4	"	"	45	1			45		附属接骨院にて臨床実習を行う。	
その他	柔整解剖A Anatomy of Judo Therapy A	"	講義	30	2	30				柔道整復師として必要な解剖学（特に上肢の骨学・筋学・関節運動）を総合的に学ぶ。	
	柔整解剖B Anatomy of Judo Therapy B	"	"	30	2		30			柔道整復師として必要な解剖学（特に下肢体幹の骨学・筋学・関節運動）を総合的に学ぶ。	
	柔整生理A Physiology of Judo Therapy A	"	"	30	2	30				柔道整復師として必要な生理学（骨・筋・神経などを中心）を総合的に学ぶ。	
	柔整生理B Physiology of Judo Therapy B	"	"	30	2		30			柔道整復師として必要な生理学（消化・吸収・代謝などを中心）を総合的に学ぶ。	
	コンディショニングトレーナー講座1 Course of Conditioning	"	実習	30	1	30				コンディショニング理論と実践的な手法（スピード・アジリティ）を学ぶ。	
	コンディショニングトレーナー講座2 Course of Conditioning	"	"	30	1		30			コンディショニング理論と実践的な手法（クイックネス）を学ぶ。	
	手技療法1 Manual Therapy Skill Training 1	"	"	30	1	30				柔道整復業務に必要な手技において基本形を学ぶ。	
	手技療法2 Manual Therapy Skill Training 2	"	"	30	1		30			症状によって手技を使い分け実践に近い手技を学ぶ。	
	基礎医学講座1 Course of Basic Medicine	"	講義	30	2	30				医学を学ぶ上で必要な基礎知識（生物学など）を学ぶ。	
	基礎医学講座2 Course of Basic Medicine	"	"	30	2		30			医学を学ぶ上で必要な基礎知識（生物学など）を学ぶ。	
課題研究 Project Studies	"	実習	30	2				30		設定したテーマについて研究、考察することで考え、行動し、自ら問題解決のできる能力を養うことを目的とする実習。	

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2024年度以前（昼間部）の柔道整復師学科入学生に適用する

柔道整復師学科（昼間部）

その他	柔道整復応用講座1 Course of Judo Therapy Advanced 1	必修	講義	15	1				15		柔道整復師として必要な運動学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座2 Course of Judo Therapy Advanced 2	〃	〃	15	1				15		柔道整復師として必要なリハビリテーション医学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座3 Course of Judo Therapy Advanced 3	〃	〃	30	2			30			柔道整復師として必要な一般臨床医学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座4 Course of Judo Therapy Advanced 4	〃	〃	30	2				30		柔道整復師に必要な整形外科学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座5 Course of Judo Therapy Advanced 5	〃	〃	15	1				15		柔道整復師として必要な病理学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座6 Course of Judo Therapy Advanced 6	〃	〃	30	2				30		柔道整復師に必要な外科学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座7 Course of Judo Therapy Advanced 7	〃	〃	15	1				15		柔道整復師として必要な衛生学を学ぶ。	
	柔整医学演習1 Medical Practice of Judo Therapy 1	〃	演習	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習2 Medical Practice of Judo Therapy 2	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習3 Medical Practice of Judo Therapy 3	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習4 Medical Practice of Judo Therapy 4	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習5 Medical Practice of Judo Therapy 5	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習6 Medical Practice of Judo Therapy 6	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習7 Medical Practice of Judo Therapy 7	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習8 Medical Practice of Judo Therapy 8	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習9 Medical Practice of Judo Therapy 9	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習10 Medical Practice of Judo Therapy 10	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
柔整医学演習11 Medical Practice of Judo Therapy 11	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
柔整医学演習12 Medical Practice of Judo Therapy 12	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
柔整医学演習13 Medical Practice of Judo Therapy 13	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
柔整医学演習14 Medical Practice of Judo Therapy 14	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
柔整医学演習15 Medical Practice of Judo Therapy 15	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
柔整医学演習16 Medical Practice of Judo Therapy 16	〃	〃	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
その他	柔整医学演習17 Medical Practice of Judo Therapy 17	必修	演習	15	1					15	資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
総時間数				2925	162	510	510	480	525	480	420	

柔道整復師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学的 思考の 基盤  人間と 生活	キャリアデザイン講座1 Course of Career Design 1	必修	講義	30	2	30						社会人基礎力を学ぶことにより、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の能力を習得する。
		キャリアデザイン講座2 Course of Career Design 2	〃	〃	15	1	15						社会人基礎力を学ぶことにより、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の能力を習得する。
		キャリアデザイン学講座3 Course of Career Design 3	〃	〃	15	1	15						医療を学ぶ上での基礎知識を学び、科学的視点、論理的思考を身につける。
		栄養学1 Nutrition 1	〃	〃	15	1	15						患者の治療に携わる際の栄養指導の基礎を習得する。
		栄養学2 Nutrition 2	〃	〃	15	1	15						患者の治療に携わる際の栄養指導の基礎を習得する。
		医学英語 Medical English	〃	〃	30	2	30						コミュニケーションのためのレッスンを中心に柔道整復/医療に結びつく英語の習得。
		社会福祉学 Social Welfare	〃	〃	30	2	30						社会福祉の概念と社会福祉政策の現状と介護福祉について学ぶ。
		心理学 Psychology	〃	〃	30	2			30				自分を知ることから始め、患者心理を学ぶ。
		ソーシャルスキル講座 Course of social skills	〃	〃	30	2					30		社会における対人関係、目標達成に対する思考、行動、技能、また療養費などを学ぶ。
専門 基礎 分野	人体の 構造と 機能	解剖学1 Anatomy 1	〃	〃	30	2	30						人体の機能構造を学ぶ。身体の構築、特に骨・関節・筋を中心に理解する。 1. 人体解剖学概説 2. 運動器系 3. 脈管系 4. 消化器系 5. 呼吸器系
		解剖学2 Anatomy 2	〃	〃	30	2	30						人体の機能構造を学ぶ。身体の構築、特に内臓器を中心に理解する。 6. 泌尿器系 7. 生殖器系 8. 内分泌系 9. 神経系 10. 感覚器系 11. 体表解剖
		生理学1 Physiology 1	〃	〃	30	2	30						人体の生理機能を学ぶ。身体の生命現象について理解する。 1. 総論 2. 血液と循環 3. 呼吸 4. 栄養と代謝 5. 消化と吸収 6. 体温とその調節
		生理学2 Physiology 2	〃	〃	30	2	30						人体の生理機能を学ぶ。身体の生命現象について理解する。 7. 尿の生成と排泄 8. 内分泌 9. 骨の生理 10. 神経 11. 筋肉の機能 12. 感覚の生理 13. 生殖
		生理学3 Physiology 3	〃	〃	30	2			30				高齢者・競技者の生理学的特徴・変化を学ぶ。
		解剖生理学1 Anatomy and Physiology 1	〃	〃	30	2			30				人体の構造と機能を学び、統合的に理解する。 循環器系・消化器系・呼吸器系
		解剖生理学2 Anatomy and Physiology 2	〃	〃	30	2			30				人体の構造と機能を学び、統合的に理解する。 泌尿器系・生殖器系・神経系・感覚器系
		運動学 Kinesiology	〃	〃	30	2			30				人体の運動機能を、骨、筋肉、関節を中心に学ぶ。骨・関節・筋の構造と機能を理解する。 1. 運動学総論 2. 運動器の構造と機能 3. 運動の発現と制御 4. 頭・頸部・四肢と体幹の運動 5. 姿勢運動発達歩行
		疾病 と 傷害	リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	〃	〃	30	2			30			
一般臨床医学 General remarks of Clinical Medicine	〃		〃	30	2			30				内科疾患を中心に、診断、治療法を学ぶ。 1. 診察概論 2. 診察各論(問診・視診・打診・聴診・触診・生命徴候・知覚検査・反射検査) 3. 検査法 4. 主要な疾患	

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2025年度以降の柔道整復師学科（夜間部）入学生に適用する

柔道整復師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎分野	整形外科学 Orthopedic Surgery	〃	〃	15	1			15				整形外科の診断法と整形外科疾患を学ぶ。 総論：1.診断法と検査法 2.治療概論 3.外傷総論 各論：1.先天性骨系統疾患 2.感染性軟部 3.非感染性軟部組織・関節疾患 4.骨端症 5.骨・軟部腫瘍 6.汎発性骨疾患 7.神経および筋の疾患 8.一般外傷・障害	
	病理学概論 Introduction of Pathology	〃	〃	30	2			30				疾病における臓器、組織、細胞の形態変化を学ぶ。 1.病理学の意義 2.疾病の一般 3.病因 4.退行性病変 5.循環障害 6.進行性病変 7.炎症 8.免疫異常・アレルギー 9.腫瘍 10.先天性異常	
	外科学概論 Introduction of Surgery	〃	〃	30	2				30			外科学の基礎と外科疾患を学ぶ。 1.損傷 2.炎症 3.外科的感染症 4.腫瘍 5.ショック 6.失血と輸血・輸液 7.滅菌法と消毒法 8.手術 9.麻酔 10.移植 11.止血 12.ショック対策 13.蘇生法 14.頭部・顔面部外傷 15.意識障害 16.けいれん 17.脳卒中 18.脊椎損傷 19.胸部外傷 20.腹部外傷	
	衛生学・公衆衛生学 Hygiene and Public Health	〃	〃	30	2				30			環境保健、地域の公衆衛生を学ぶ。 1.衛生学ならびに公衆衛生学の意義 2.環境衛生 3.公衆衛生 4.感染症 5.消毒	
	基礎鑑別学	〃	〃	30	2				30			対象となる運動器疾患が業務範囲にあたるのかを適切に判断、施術できる能力を養う。	
	関係法規 Legal Issues in Medicine	〃	〃	30	2					30		柔道整復師業務に従事する上で必要な法令、法規を学ぶ。	
	柔道1 Judo 1	〃	実習	30	1	30						柔道の技術と礼儀作法を基礎から身につける。	
	柔道2 Judo 2	〃	〃	30	1		30					柔道の一步進んだ技術と礼儀作法を身につける。	
	柔道3 Judo 3	〃	〃	30	1				30			柔道の技術と礼儀作法を学び、形（手技・腰技）を習得する。	
	柔道4 Judo 4	〃	〃	30	1					30		柔道の技術と礼儀作法を学び、形（足技）を習得する。	
柔道概論 Introduction of Judo	〃	講義	30	2					30		柔道の歴史・考え方を通して、礼節作法を学ぶ。また職業倫理について学ぶ。		
社会保障論 Social Security	〃	〃	15	1						15	医療費などの社会保障制度を理解し、健康や障害に応じた社会資源の活用ができる知識を学ぶ。		
専門分野	柔整総論1 General Judo Therapy 1	〃	〃	30	2	30						柔道整復学総論（骨折・脱臼）を学ぶ。	
	柔整総論2 General Judo Therapy 2	〃	〃	30	2	30						柔道整復学総論（診察・治療法）を学ぶ。	
	柔整総論3 General Judo Therapy 3	〃	〃	15	1	15						柔道整復学総論（軟部組織損傷）を学ぶ。	
	柔整総論4 General Judo Therapy 4	〃	〃	15	1	15						柔道整復学総論（軟部組織損傷）を学ぶ。	
	柔整基礎講座 Course of Basic Judo Therapy	〃	講義	30	2	30						柔道整復術の習得に必要な人体の基礎を学ぶ。	
	フィジカル エクササイズ講座 Course of physical exercise Skill	〃	演習	15	1		15						柔道整復師の施術に必要な人体の基礎および筋力強化、運動療法について学ぶ。
	後療法学 Arter Treatment of Injury	〃	講義	15	1					15		外傷の経過および治療判断方法を学ぶ。	

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2025年度以降の柔道整復師学科（夜間部）入学生に適用する

柔道整復師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
臨床 柔道 整復 学	臨床柔整学 基礎各論 1 Clinical Judo Therapy Basic 1	〃	〃	30	2		30					柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 基礎各論 2 Clinical Judo Therapy Basic 2	〃	〃	30	2		30					柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 基礎各論 3 Clinical Judo Therapy Basic 3	〃	〃	30	2		30					柔道整復学各論を体幹を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 基礎各論 4 Clinical Judo Therapy Basic 4	〃	〃	15	1		15					柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 基礎各論 5 Clinical Judo Therapy Basic 5	〃	〃	15	1		15					柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 応用各論 1 Clinical Judo Therapy Advanced 2	〃	〃	30	2			30				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 応用各論 2 Clinical Judo Therapy Advanced 2	〃	〃	30	2			30				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 応用各論 3 Clinical Judo Therapy Advanced 3	〃	〃	15	1			15				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	臨床柔整学 応用各論 4 Clinical Judo Therapy Advanced 4	〃	〃	15	1			15				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を学ぶ。
	柔整応用鑑別学 Judo Therapy Differential Diagnosis Advance	〃	〃	30	2					30		施術における損傷の適不適を判断できるよう医用画像診断を学ぶ。
物理療法学 Physical Therapy Equipment	〃	〃	15	1		15					物理療法機器の原理、作用などを学ぶ。	
柔道 整復 実技	基礎包帯固定学 1 Basic Method of Bandage and Fixation Procedures 1	〃	実習	30	1	30						巻軸包帯を用いた手関節周囲の基礎包帯法を学ぶ。
	基礎包帯固定学 2 Basic Method of Bandage and Fixation Procedures 2	〃	〃	30	1		30					巻軸包帯を用いた基礎包帯法や、三角巾による固定法、副子などの作成過程を学ぶ。
	柔整コンディショニング実習 1 Judo Therapy Conditioning Skill Practice 1	〃	〃	30	1			30				実習を通じて固定法などの身体のコンディショニングスキル（治療技術含む）を習得する。
	柔整コンディショニング実習 2 Judo Therapy Conditioning Skill Practice 2	〃	実習	30	1			30				実習を通じてコンディショニングスキル（ストレッチング方法、固定法など含む）の治療技術を習得する。
専門 分野	柔道 整復 実技	外傷予防理論実習 1 Injury Prevention Conditioning Skill Practice 1	〃	〃	30	1			30			高齢者の生理学的特徴を活用し、外傷予防の手法を身に付ける。
		外傷予防理論実習 2 Injury Prevention Conditioning Skill Practice 2	〃	〃	30	1				30		競技者の生理学的特徴を活用し、外傷予防の手法を身に付ける。
		柔道整復実技 1 Judo Therapy Practical Training 1	〃	〃	30	1			30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
		柔道整復実技 2 Judo Therapy Practical Training 2	〃	〃	30	1			30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
		柔道整復実技 3 Judo Therapy Practical Training 3	〃	〃	30	1			30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
		柔道整復実技 4 Judo Therapy Practical Training 4	〃	〃	30	1			30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。
柔道整復実技 5 Judo Therapy Practical Training 5	〃	〃	30	1			30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。		

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2025年度以降の柔道整復師学科（夜間部）入学生に適用する

柔道整復師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	柔道整復実技6 Judo Therapy Practical Training 6	〃	〃	30	1				30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得する。	
	柔整外傷学実習1 Judo Therapy and Traumatology Practice 1	〃	〃	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	
	柔整外傷学実習2 Judo Therapy and Traumatology Practice 2	〃	〃	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	
	柔整外傷学実習3 Judo Therapy and Traumatology Practice 3	〃	〃	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	
	柔整外傷学実習4 Judo Therapy and Traumatology Practice 4	〃	〃	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	
	柔整外傷学実習5 Judo Therapy and Traumatology Practice 5	〃	〃	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学ぶ。	
	臨床実習1 Clinical Training 1	〃	〃	45	1		45						臨床実習を行う。
	臨床実習2 Clinical Training 2	〃	〃	45	1			45					臨床実習を行う。
	臨床実習3 Clinical Training 3	〃	〃	45	1				45				臨床実習を行う。
	臨床実習4 Clinical Training 4	〃	〃	45	1					45			臨床実習を行う。
その他	柔整解剖A Anatomy of Judo Therapy A	〃	講義	30	2	30						柔道整復師として必要な解剖学（特に上肢の骨学・筋学・関節運動）を総合的に学ぶ。	
	柔整解剖B Anatomy of Judo Therapy B	〃	〃	30	2		30					柔道整復師として必要な解剖学（特に下肢体幹の骨学・筋学・関節運動）を総合的に学ぶ。	
	柔整生理A Physiology of Judo Therapy A	〃	講義	30	2	30						柔道整復師として必要な生理学（骨・筋・神経などを中心）を総合的に学ぶ。	
	柔整生理B Physiology of Judo Therapy B	〃	〃	30	2		30					柔道整復師として必要な生理学（消化・吸収・代謝などを中心）を総合的に学ぶ。	
	基礎医学講座 Course of Basic Medicine	〃	実習	30	1		30					実習を通して医学を学ぶ上で必要な基礎知識を学ぶ。	
	ボディメイクトレーナー講座1 Course of Bodymaking Trainer Skill 1	〃	演習	15	1	15						ボディメイクトレーナーに必要な理論と実技を学ぶ。	
	ボディメイクトレーナー講座2 Course of Bodymaking Trainer Skill 2	〃	実習	30	1	30						ボディメイクトレーナーに必要な理論と実技を学ぶ。	
	柔道整復応用講座1 Course of Judo Therapy Advanced 1	〃	講義	15	1			15				柔道整復師として必要な運動学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座2 Course of Judo Therapy Advanced 2	〃	〃	15	1				15			柔道整復師として必要なリハビリテーション医学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座3 Course of Judo Therapy Advanced 3	〃	〃	15	1				15			柔道整復師として必要な一般臨床医学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座4 Course of Judo Therapy Advanced 4	〃	〃	30	2				30			柔道整復師に必要な整形外科学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座5 Course of Judo Therapy Advanced 5	〃	〃	15	1				15			柔道整復師として必要な病理学を学ぶ。	
	柔道整復応用講座6 Course of Judo Therapy Advanced 6	〃	〃	15	1				15			柔道整復師に必要な外科学を学ぶ。	
柔道整復応用講座7 Course of Judo Therapy Advanced 7	〃	〃	15	1				15			柔道整復師として必要な衛生学を学ぶ。		

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2025年度以降の柔道整復師学科（夜間部）入学生に適用する

柔道整復師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
その他	柔整医学演習 1 Medical Practice of Judo Therapy 1	"	演習	15	1					15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
	柔整医学演習 2 Medical Practice of Judo Therapy 2	"	"	15	1					15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
	柔整医学演習 3 Medical Practice of Judo Therapy 3	"	"	15	1					15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
	柔整医学演習 4 Medical Practice of Judo Therapy 4	"	"	15	1					15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
	柔整医学演習 5 Medical Practice of Judo Therapy 5	"	"	30	2					30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。	
	柔整医学演習 6 Medical Practice of Judo Therapy 6	"	"	15	1						15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 7 Medical Practice of Judo Therapy 7	"	"	15	1						15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 8 Medical Practice of Judo Therapy 8	"	"	15	1						15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 9 Medical Practice of Judo Therapy 9	"	"	15	1						15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 10 Medical Practice of Judo Therapy 10	"	"	15	1						15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 11 Medical Practice of Judo Therapy 11	"	"	15	1						15		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 12 Medical Practice of Judo Therapy 12	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 13 Medical Practice of Judo Therapy 13	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 14 Medical Practice of Judo Therapy 14	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 15 Medical Practice of Judo Therapy 15	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 16 Medical Practice of Judo Therapy 16	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 17 Medical Practice of Judo Therapy 17	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 18 Medical Practice of Judo Therapy 18	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 19 Medical Practice of Judo Therapy 19	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 20 Medical Practice of Judo Therapy 20	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 21 Medical Practice of Judo Therapy 21	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
	柔整医学演習 22 Medical Practice of Judo Therapy 22	"	"	30	2						30		資格取得に必要な国家試験の内容を理解しながら問題演習を行うと共に、卒後に役立つ知識・技術を幅広く習得する。
総時間数				2760	153	435	465	450	495	450	465		

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2024年度以前の柔道整復師学科入学生（夜間部）に適用する

柔道整復師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	キャリアデザイン講座1 Course of Career Design	必修	講義	30	2	30						社会人基礎力を学ぶことにより、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の能力を習得し将来像を描けるようになる。
		キャリアデザイン講座2 Course of Career Design	必修	講義	15	1	15						医療を学ぶ上での基礎知識を学び、科学的視点、論理的思考を身につけることができるようになる。
		キャリアデザイン講座3 Course of Career Design	必修	講義	15	1		15					医療を学ぶ上での基礎知識を学び、科学的視点、論理的思考を身につけることができるようになる。
		栄養学1 Nutrition	必修	講義	15	1	15						患者の治療に携わる際に必要な栄養の基礎知識を習得し患者指導に補完できるようになる。
		栄養学2 Nutrition	必修	講義	15	1	15						患者の治療に携わる際に必要な栄養の基礎知識を習得し患者指導に補完できるようになる。
		医学英語 Medical English	必修	講義	30	2	30						コミュニケーションのためのレッスンを中心に柔道整復/医療に結びつく英語を習得し、診療に役立てることができるようになる。
		社会福祉学 Social Welfare	必修	講義	30	2		30					社会福祉の概念と社会福祉政策の現状と介護福祉について学び、医療・福祉において幅広い視野を持つことができるようになる。
		心理学 Psychology	必修	講義	30	2			30				自分を知ることから始め、患者心理を学び診療に役立てることができるようになる。
		経営マネジメント Office Management	必修	講義	30	2					30		経営学の基礎と開業に際して必要な知識を学び、社会に対して視野を広げることができるようになる。
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学1 Anatomy	必修	講義	30	2	30						人体の機能構造を学ぶ。身体の構築、特に骨・関節・筋を中心に理解し、後の専門分野において容易に理解することができるようになる。 1. 人体解剖学概説 2. 運動器系 3. 脈管系 4. 消化器系 5. 呼吸器系
		解剖学2 Anatomy	必修	講義	30	2		30					人体の機能構造を学ぶ。身体の構築、特に内臓器を中心に理解し、後の専門分野において容易に理解することができるようになる。 6. 泌尿器系 7. 生殖器系 8. 内分泌系 9. 神経系 10. 感覚器系 11. 体表解剖
		生理学1 Physiology	必修	講義	30	2	30						人体の生理機能を学ぶ。身体の生命現象について理解し、後の専門分野において容易に理解することができるようになる。 1. 総論 2. 血液と循環 3. 呼吸 4. 栄養と代謝 5. 消化と吸収 6. 体温とその調節
		生理学2 Physiology	必修	講義	30	2		30					人体の生理機能を学ぶ。身体の生命現象について理解し、後の専門分野を習った際容易に理解することができるようになる。 7. 尿の生成と排泄 8. 内分泌 9. 骨の生理 10. 神経 11. 筋肉の機能 12. 感覚の生理 13. 生殖
		生理学3 Physiology	必修	講義	30	2			30				高齢者・競技者の生理学的特徴・変化を学び、後の専門分野で容易に理解することができるようになる。
		解剖生理学1 Anatomy and Physiology	必修	講義	30	2			30				人体の構造と機能を学び、統合的に理解し、後の専門分野で容易に理解することができるようになる。循環器系・消化器系・呼吸器系
		解剖生理学2 Anatomy and Physiology	必修	講義	30	2				30			人体の構造と機能を学び、統合的に理解し、後の専門分野で容易に理解することができるようになる。泌尿器系・生殖器系・神経系・感覚器系
		運動学 Kinesiology	必修	講義	30	2				30			
	疾病と傷害	リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	必修	講義	30	2				30			リハビリテーション医学への理解を深め、その知識と技術を学び、診療に役立てることができるようになる。 1. 総論 2. 障害 3. 評価 4. 治療 5. 治療各論
一般臨床医学 General Remarks of Clinical Medicine	必修	講義	30	2					30			内科疾患を中心に、診断、治療法を学び、診療に役立てることができるようになる。 1. 診察概論 2. 診察各論(問診・視診・打診・聴診・触診・生命徴候・知覚検査・反射検査) 3. 検査法 4. 主要な疾患	

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2024年度以前の柔道整復師学科入学生（夜間部）に適用する

柔道整復師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	疾病と傷害	整形外科学 Orthopedic Surgery	必修	講義	15	1			15			整形外科の診断法と整形外科疾患を学び、診療に役立てることができるようになる。 総論：1.診断法と検査法 2.治療概論 3.外傷総論 各論：1.先天性骨系統疾患 2.感染性軟部 3.非感染性軟部組織・関節疾患 4.骨端症 5.骨・軟部腫瘍 6.汎発性骨疾患 7.神経および筋の疾患 8.一般外傷・障害
		病理学概論 Introduction of Pathology	必修	講義	30	2			30			疾病における臓器、組織、細胞の形態変化を学び、疾患の過程を理解し、診療に役立てることができるようになる。 1.病理学の意義 2.疾病の一般 3.病因 4.退行性病変 5.循環障害 6.進行性病変 7.炎症 8.免疫異常・アレルギー 9.腫瘍 10.先天性異常
		外科学概論 Introduction of Surgery	必修	講義	30	2				30		外科学の基礎と外科疾患を学び、診療に役立てることができるようになる。 1.損傷 2.炎症 3.外科的感染症 4.腫瘍 5.ショック 6.失血と輸血・輸液 7.滅菌法と消毒法 8.手術 9.麻酔 10.移植 11.止血 12.ショック対策 13.蘇生法 14.頭部・顔面部外傷 15.意識障害 16.けいれん 17.脳卒中 18.脊椎損傷 19.胸部外傷 20.腹部外傷
		衛生学・公衆衛生学 Hygiene and Public Health	必修	講義	30	2				30		環境保健、地域の公衆衛生を学び、患者への指導ならびに診療に役立てることができるようになる。 1.衛生学ならびに公衆衛生学の意義 2.環境衛生 3.公衆衛生 4.感染症 5.消毒
	基礎鑑別学 Difference Diagnosis Basic	必修	講義	30	2				30		対象となる運動器疾患が業務範囲にあたるのかを適切に判断、施術できる能力を身に付けることができる。	
	保健医療福祉と柔道整復の理念	関係法規 Legal Issues in Medicine	必修	講義	30	2				30		柔道整復師業務に従事する上で必要な法令、法規を学び、適正な柔道整復業務を行うことができるようになる。
		柔道1 Judo	必修	実習	30	1	30					柔道の技術と礼儀作法を身に付けることができるようになる。
		柔道2 Judo	必修	実習	30	1		30				柔道の一步進んだ技術と礼儀作法を身につけることができるようになる。
		柔道3 Judo	必修	実習	30	1			30			柔道の技術と礼儀作法を学び、形（手技・腰技）を習得し実施できるようになる。
		柔道4 Judo	必修	実習	30	1				30		柔道の技術と礼儀作法を学び、形（足技）を習得し実施できるようになる。
柔道概論 Introduction of Judo		必修	講義	30	2					30	柔道の歴史・考えを通して、礼節作法を学ぶ。また職業倫理について学び、社会に向けて視野を広げることができるようになる。	
社会保障論 Social Security	必修	講義	15	1					15		医療費などの社会保障制度を理解し、健康や障害に応じた社会資源の活用ができる知識を学び、介護分野へ視野を広げることができるようになる。	
専門分野	基礎柔道整復学	柔整総論1 General Judo Therapy	必修	講義	30	2	30					柔道整復学総論（骨折・脱臼）を学び、説明できるようになる。
		柔整総論2 General Judo Therapy	必修	講義	30	2	30					柔道整復学総論（軟部組織損傷）を学び、説明できるようになる。
		柔整総論3 General Judo Therapy	必修	講義	30	2	30					柔道整復学総論（治療法）を学び、説明できるようになる。
		柔整基礎講座1 Course of Basic Judo Therapy	必修	講義	15	1	15					骨・関節・筋の連結など、人体を立体的について説明できるようになる。
		柔整基礎講座2 Course of Basic Judo Therapy	必修	講義	15	1	15					柔道整復術の習得に必要な基礎体表解剖を学び、説明できるようになる。
		柔整基礎講座3 Course of Basic Judo Therapy	必修	講義	15	1		15				骨・関節・筋の連結など、人体を立体的について説明できるようになる。
		柔整基礎講座4 Course of Basic Judo Therapy	必修	講義	15	1		15				柔道整復術の習得に必要な基礎体表解剖を学び、説明できるようになる。
		後療法学 Arter Treatment of Injury	必修	講義	15	1					15	

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2024年度以前（夜間部）の柔道整復師学科入学生に適用する

柔道整復師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
臨床 柔道 整復学	臨床柔整学 基礎各論1 Clinical Judo Therapy Basic	必修	講義	30	2		30					柔道整復学各論を体幹を中心として、部位別の整復法、固定法などの治療法を説明できるようになる。
	臨床柔整学 基礎各論2 Clinical Judo Therapy Basic	必修	講義	30	2		30					柔道整復学各論を体幹を中心として、部位別の整復法、固定法などの治療法を説明できるようになる。
	臨床柔整学 基礎各論3 Clinical Judo Therapy Basic	必修	講義	30	2		30					柔道整復学各論を体幹を中心として、部位別の整復法、固定法などの治療法を説明できるようになる。
	臨床柔整学 基礎各論4 Clinical Judo Therapy Basic	必修	講義	15	1		15					柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を説明できるようになる。
	臨床柔整学 基礎各論5 Clinical Judo Therapy Basic	必修	講義	15	1		15					柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を説明できるようになる。
	臨床柔整学 応用各論1 Clinical Judo Therapy Advanced	必修	講義	30	2			30				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を説明できるようになる。
	臨床柔整学 応用各論2 Clinical Judo Therapy Advanced	必修	講義	30	2			30				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を説明できるようになる。
	臨床柔整学 応用各論3 Clinical Judo Therapy Advanced	必修	講義	15	1			15				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を説明できるようになる。
	臨床柔整学 応用各論4 Clinical Judo Therapy Advanced	必修	講義	15	1			15				柔道整復学各論を上肢・下肢を中心として部位別に学び、整復法、固定法などの治療法を説明できるようになる。
	柔整応用鑑別学 Judo Therapy Differential Diagnosis Advanced	必修	講義	30	2						30	施術における損傷の適不適を判断できるよう医用画像診断を学び、診察能力を高めることができるようになる。
物理療法学 Physical Therapy Equipment	必修	講義	15	1	15							物理療法機器の原理、作用などを学び、診療に役立てることができるようになる。
専門 分野	基礎包帯固定学1 Basic Method of Bandage and Fixation Procedures	必修	実習	30	1	30						巻輪包帯を用いた手関節周囲の基礎包帯法を実施できるようになる。
	基礎包帯固定学2 Basic Method of Bandage and Fixation Procedures	必修	実習	30	1		30					巻輪包帯を用いた基礎包帯法や、三角巾による固定法、副子などの作成過程を学び、実施できるようになる。
	柔整コンテ`ィションング`実習1 Judo Therapy Conditioning Skill Practice	必修	実習	30	1			30				実習を通じて固定法などの身体のコンドィションングスキル（治療技術含む）を習得し、実施できるようになる。
	柔整コンテ`ィションング`実習2 Judo Therapy Conditioning Skill Practice	必修	実習	30	1			30				実習を通じてコンディショニングスキル（ストレッチング方法、固定法など含む）の治療技術を習得し、実施できるようになる。
	外傷予防理論実習1 Injury Prevention Conditioning Practices	必修	実習	30	1				30			高齢者の生理学的特徴を活用し、外傷予防の手法を身に付け、実施できるようになる。
	外傷予防理論実習2 Injury Prevention Conditioning Practices	必修	実習	30	1					30		競技者の生理学的特徴を活用し、外傷予防の手法を身に付け、実施できるようになる。
	柔道整復実技1 Judo Therapy Practical Training	必修	実習	30	1			30				柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得、実施できるようになる。
	柔道整復実技2 Judo Therapy Practical Training	必修	実習	30	1				30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得、実施できるようになる。
	柔道整復実技3 Judo Therapy Practical Training	必修	実習	30	1				30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得、実施できるようになる。
	柔道整復実技4 Judo Therapy Practical Training	必修	実習	30	1				30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得、実施できるようになる。

《第8条1 別紙第1》 ※以下は2024年度以前の柔道整復師学科（夜間部）入学生に適用する

柔道整復師学科（夜間部）

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	柔道整復実技5 Judo Therapy Practical Training	必修	実習	30	1				30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得、実施できるようになる。	
	柔道整復実技6 Judo Therapy Practical Training	必修	実習	30	1				30			柔道整復学各論を部位別に学び、実習を通じて整復法、固定法などの治療技術を習得、実施できるようになる。	
	柔整外傷学実習1 Judo Therapy and Traumatology Practice	必修	実習	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学び、実施できるようになる。	
	柔整外傷学実習2 Judo Therapy and Traumatology Practice	必修	実習	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学び、実施できるようになる。	
	柔整外傷学実習3 Judo Therapy and Traumatology Practice	必修	実習	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学び、実施できるようになる。	
	柔整外傷学実習4 Judo Therapy and Traumatology Practice	必修	実習	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学び、実施できるようになる。	
	柔整外傷学実習5 Judo Therapy and Traumatology Practice	必修	実習	30	1					30		柔道整復学の扱う骨折、脱臼などの外傷、障害に対する臨床的な整復法、固定法などを学び、実施できるようになる。	
	臨床実習1 Clinical Training	必修	実習	45	1		45						附属接骨院にて臨床実習を行い、診療に向けて問診ができるようになる。
	臨床実習2 Clinical Training	必修	実習	45	1			45					附属接骨院にて臨床実習を行い、診療に向けて問診ができるようになる。
	臨床実習3 Clinical Training	必修	実習	45	1				45				外部接骨院にて臨床実習を行う。
	臨床実習4 Clinical Training	必修	実習	45	1					45			附属接骨院にて臨床実習を行い、診療に向けて問診ができるようになる。
	その他	柔整解剖A Anatomy of Judo Therapy	必修	講義	30	2	30						柔道整復師として必要な解剖学（特に上肢の骨学・筋学・関節運動）を総合的に学び、説明できるようになる。
		柔整解剖B Anatomy of Judo Therapy	必修	講義	30	2		30					柔道整復師として必要な解剖学（特に下肢体幹の骨学・筋学・関節運動）を総合的に学び、説明できるようになる。
		柔整生理A Physiology of Judo Therapy	必修	講義	30	2	30						柔道整復師として必要な生理学（骨・筋・神経などを中心）を総合的に学び、説明できるようになる。
柔整生理B Physiology of Judo Therapy		必修	講義	30	2		30					柔道整復師として必要な生理学（消化・吸収・代謝などを中心）を総合的に学び、説明できるようになる。	
基礎医学講座 Course of Basic Medicine		必修	講義	30	2	30						医学を学ぶ上で必要な基礎知識を説明できるようになる。	
コンディショニングトレーナー講座 Course of Conditioning Trainer Skill		必修	講義	30	2		30					コンディショニング理論と実践的な手法を学び、実施できるようになる。	
柔道整復応用講座1 Course of Judo Therapy Advanced		必修	講義	15	1			15					柔道整復師として必要な運動学を学び、説明できるようになる。
柔道整復応用講座2 Course of Judo Therapy Advanced		必修	講義	15	1				15				柔道整復師として必要なリハビリテーション医学を学び、説明できるようになる。
柔道整復応用講座3 Course of Judo Therapy Advanced		必修	講義	15	1				15				柔道整復師として必要な一般臨床医学を学び、説明できるようになる。
柔道整復応用講座4 Course of Judo Therapy Advanced		必修	講義	30	2			30					柔道整復師に必要な整形外科学を学び、説明できるようになる。
柔道整復応用講座5 Course of Judo Therapy Advanced		必修	講義	15	1			15					柔道整復師として必要な病理学を学び、説明できるようになる。
柔道整復応用講座6 Course of Judo Therapy Advanced	必修	講義	15	1				15				柔道整復師に必要な外科学を学び、説明できるようになる。	
柔道整復応用講座7 Course of Judo Therapy Advanced	必修	講義	15	1				15				柔道整復師として必要な衛生学を学び、説明できるようになる。	



## 学費一覧

入学検定料 20,000 円

学科名	費用名	1年次	2年次	3年次
救急救命士学科 昼間部	入学金	200,000 円	—	—
	授業料	800,000 円	800,000 円	800,000 円
	実習費	400,000 円	400,000 円	400,000 円
	総合演習費	150,000 円	100,000 円	100,000 円
	合 計	1,550,000 円	1,300,000 円	1,300,000 円
救急救命士学科 夜間部	入学金	200,000 円	—	—
	授業料	600,000 円	600,000 円	600,000 円
	実習費	300,000 円	300,000 円	300,000 円
	総合演習費	150,000 円	100,000 円	100,000 円
	合 計	1,250,000 円	1,000,000 円	1,000,000 円
歯科技工士学科	入学金	200,000 円	—	—
	授業料	950,000 円	950,000 円	950,000 円
	実習費	400,000 円	400,000 円	400,000 円
	総合演習費	150,000 円	200,000 円	200,000 円
	合 計	1,700,000 円	1,550,000 円	1,550,000 円
鍼灸師学科 昼間部 柔道整復師学科 昼間部	入学金	200,000 円	—	—
	授業料	1,000,000 円	1,000,000 円	1,000,000 円
	実習費	400,000 円	400,000 円	400,000 円
	総合演習費	150,000 円	100,000 円	100,000 円
	合 計	1,750,000 円	1,500,000 円	1,500,000 円
鍼灸師学科 夜間部 柔道整復師学科 夜間部	入学金	200,000 円	—	—
	授業料	700,000 円	700,000 円	700,000 円
	実習費	400,000 円	400,000 円	400,000 円
	総合演習費	150,000 円	100,000 円	100,000 円
	合 計	1,450,000 円	1,200,000 円	1,200,000 円

その他費用 (社会情勢の変化などに伴い変動する場合があります)

■諸経費 全学科共通 1年次約6万円 2年次約5万円 3年次約11万円

※校友会費、健康管理費、卒業関連費、同窓会費などに充当します

■教材費 救急救命士学科 1年次約13万円 2年次約5万円 3年次約1万円

歯科技工士学科 1年次約27万円 2年次約3万円 3年次約1万円

鍼灸師学科 1年次約12万円 2年次約3万円 3年次約2万円

柔道整復師学科 1年次約12万円 2年次約6万円 3年次約2万円

※ 生徒納付金の種類及び金額並びに定められた納付金以外には徴収いたしません